

第2回トラック輸送における取引環境・労働時間改善三重県協議会

日 時:平成 27 年12月8日(火)14時00 分～

場 所:三重県津市新町1丁目 6-28

プラザ洞津 3 階 紅葉の間

議 事 次 第

1. 開 会

2. 出席者(委員)紹介

3. 挨 拶(中部運輸局自動車交通部長)

4. 議 題

(1)トラック輸送における長時間労働の実態調査(概要)

(2)現場における課題と改善点の見える化事業について

説明:中部運輸局 自動車交通部 貨物課長 小林 直人

(3)荷主企業と運送事業者の協力による長時間労働の改善に向けた取組事例

説明:(株)日通総合研究所 物流技術環境部 主任研究員 室賀 利一

(4)その他

5. 挨拶(三重労働局長)

6. 閉 会

議事次第、委員及び出席者名簿、配席図

資料1 トラック輸送における長時間労働の実態調査 概要

資料2 現場における課題と改善点の見える化事業について

資料3 荷主企業と運送事業者の協力による長時間労働の改善に向けた取組事例

参考資料 地方協議会の開催状況について

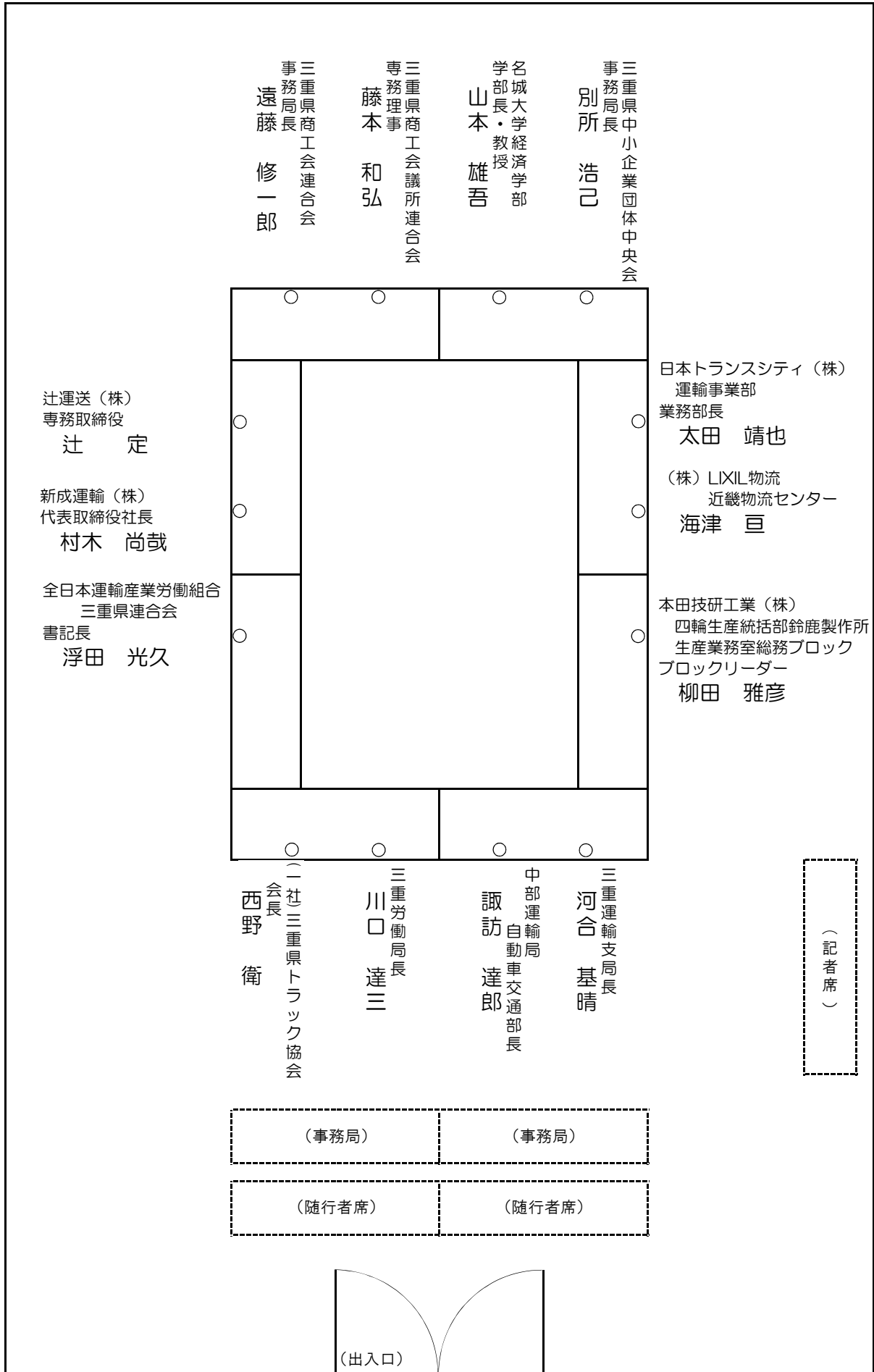
トラック輸送における取引環境・労働時間改善三重県協議会 委員名簿
 ～ 第2回協議会 出席者名簿 ～

平成27年12月8日
 (順不同・敬称略)

	機関代表者	組 織 名	役 職	委 員 氏 名	代理出席者等
1	学識経験者	名城大学経済学部	学部長・教授	山本 雄吾	
2	経済団体	三重県商工会議所連合会	専務理事	藤本 和弘	
3		三重県中小企業団体中央会	事務局長	別所 浩己	
4		三重県商工会連合会	事務局長	遠藤 修一郎	
5	荷主及び 利用運送 事業者	日本トランスシティ株式会社	運輸事業部 業務部 部長	太田 靖也	
6		株式会社LIXIL 物流 近畿物流センター	センター長	村松 幹夫	海津 亘
7		本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所	生産業務室長	鎌田 雅之	総務ブロック フロックリーター 柳田 雅彦
8	事業者団体	一般社団法人三重県トラック協会	会 長	西野 衛	
9	労働者団体	全日本運輸産業労働組合 三重県連合会	書 記 長	浮田 光久	
10	トラック運送 事 業 者	株式会社カワキタエクスプレス	代表取締役	川北 辰実	(欠席)
11		辻運送株式会社	専務取締役	辻 定	
12		新成運輸株式会社	代表取締役社長	村木 尚哉	
13	行政機関等	三重労働局	局 長	川口 達三	
14		中部運輸局	局 長	鈴木 昭久	自動車交通部長 諏訪 達郎
15		三重運輸支局	支局長	河合 基晴	

第2回トラック輸送における取引環境・労働時間改善三重県協議会 配席図

平成27年12月8日(火) プラザ洞津 3階紅葉の間



「トラック輸送状況の実態調査の概要」

調査依頼の数

三重県の調査目標数、事業者 20 社、ドライバー 20 社×5 名=100 名

のところ、

調査依頼事業者数 36 社、ドライバー 36 社×5 名=180 名

に依頼

調査票回収事業者数 33 社、ドライバー 33 社×5 名=165 名

分を回収

	依頼数	回収数
桑員支部 (桑名市・いなべ市)	5 社	4 社
北勢支部 (四日市市・三重郡)	9 社	8 社
鈴鹿支部 (鈴鹿市・亀山市)	6 社	6 社
津支部 (津市)	4 社	4 社
松阪支部 (松阪市・多気郡)	3 社	3 社
南勢支部 (伊勢市・志摩市・度会郡)	3 社	3 社
伊賀支部 (伊賀市)	2 社	1 社
紀北支部 (尾鷲市・北牟婁郡)	2 社	2 社
南紀支部 (熊野市・南牟婁郡)	2 社	2 社
	36 社	33 社

使用車種では、箱車、ローリー、トレーラ、冷凍・冷蔵車、キャリヤカー、等
輸送形態では、生鮮食品 (魚・農産物・加工食品等)、化学製品、原料、石油製品
工業原料・製品、自動車・自動車部品、冷凍食品、木材、鋼材等、
を扱う事業者を幅広く選定し、調査対象の平準化をめざした。

事業者の調査は、平成 27 年 7 月分の実態を記入

ドライバーの調査は、平成 27 年 9 月 14 日 (月) ～20 日 (日) までの 7 日分を調査

調査票の返送締切は、平成 27 年 9 月 30 日 (水)

トラック輸送状況の実態調査票 回収状況

	都道府県名	事業者用			ドライバー用				都道府県名	事業者用			ドライバー用		
		目標	回収数	目標に対する回収率	目標	回収数	目標に対する回収率			目標	回収数	目標に対する回収率	目標	回収数	目標に対する回収率
1	北海道	30	43	143.3%	150	208	138.7%	25	滋賀	20	31	155.0%	100	104	104.0%
2	青森	20	29	145.0%	100	94	94.0%	26	京都	20	25	125.0%	100	106	106.0%
3	岩手	20	20	100.0%	100	103	103.0%	27	大阪	30	47	156.7%	150	168	112.0%
4	宮城	20	20	100.0%	100	100	100.0%	28	兵庫	20	19	95.0%	100	95	95.0%
5	秋田	20	20	100.0%	100	100	100.0%	29	奈良	20	26	130.0%	100	103	103.0%
6	山形	20	20	100.0%	100	100	100.0%	30	和歌山	20	36	180.0%	100	94	94.0%
7	福島	20	30	150.0%	100	112	112.0%	31	鳥取	20	22	110.0%	100	112	112.0%
8	茨城	20	27	135.0%	100	139	139.0%	32	島根	20	36	180.0%	100	131	131.0%
9	栃木	20	23	115.0%	100	117	117.0%	33	岡山	20	30	150.0%	100	122	122.0%
10	群馬	20	28	140.0%	100	137	137.0%	34	広島	20	28	140.0%	100	134	134.0%
11	埼玉	20	28	140.0%	100	136	136.0%	35	山口	20	21	105.0%	100	104	104.0%
12	千葉	20	29	145.0%	100	143	143.0%	36	徳島	20	23	115.0%	100	103	103.0%
13	東京	30	31	103.3%	150	148	98.7%	37	香川	20	27	135.0%	100	131	131.0%
14	神奈川	20	21	105.0%	100	100	100.0%	38	愛媛	20	35	175.0%	100	109	109.0%
15	山梨	20	21	105.0%	100	105	105.0%	39	高知	20	19	95.0%	100	95	95.0%
16	新潟	20	21	105.0%	100	96	96.0%	40	福岡	20	36	180.0%	100	167	167.0%
17	長野	20	22	110.0%	100	110	110.0%	41	佐賀	20	35	175.0%	100	133	133.0%
18	富山	20	25	125.0%	100	124	124.0%	42	長崎	20	29	145.0%	100	115	115.0%
19	石川	20	18	90.0%	100	85	85.0%	43	熊本	20	22	110.0%	100	102	102.0%
20	福井	20	24	120.0%	100	120	120.0%	44	大分	20	31	155.0%	100	158	158.0%
21	岐阜	20	20	100.0%	100	100	100.0%	45	宮崎	20	21	105.0%	100	104	104.0%
22	静岡	20	21	105.0%	100	105	105.0%	46	鹿児島	20	25	125.0%	100	119	119.0%
23	愛知	30	31	103.3%	150	144	96.0%	47	沖縄	20	23	115.0%	100	109	109.0%
24	三重	20	33	165.0%	100	165	165.0%		計	980	1,252	127.8%	4,900	5,609	114.5%

トラック輸送状況の実態調査票

厚生労働省
国土交通省

【ご記入に当たって】

○本調査は統計的に処理します。この調査結果の具体的なデータを運輸支局や労働基準監督署による
監査等に使用することはありませんので、平成27年7月分の実態を正確にご記入下さい。

問1. 貴社の概要をご記入下さい。

貴社名		
住 所		
電話番号		
ご記入者名		お役職名

問2. 貴社の保有車両台数をご記入下さい。

車両総重量	保有車両台数
普通(車両総重量5t未満)	台
中型(車両総重量5t以上11t未満)	台
大型(車両総重量11t以上)	台
トラクター	台
合 計	台

問3. 貴社のドライバー数を免許区分別にご記入下さい。

年 齢	男性				女性			
	普通	中型※	大型	うち	普通	中型※	大型	うち
				けん引				けん引
20歳未満	人	人	人	人	人	人	人	人
20歳～29歳	人	人	人	人	人	人	人	人
30歳～39歳	人	人	人	人	人	人	人	人
40歳～49歳	人	人	人	人	人	人	人	人
50歳～59歳	人	人	人	人	人	人	人	人
60歳以上	人	人	人	人	人	人	人	人
合 計	人	人	人	人	人	人	人	人

※中型には、8t限定中型免許を含む。
※複数の免許を保有している場合（例、大型と中型）は、最上位の免許区分として下さい。

問4. 貴社のドライバーの労働時間についてご記入下さい。具体的には、平成27年7月分の実績から、各労働時間の項目が「最も長い運転者」及び「平均的な運転者」について該当する数値をそれぞれ記入して下さい。なお、「その運転者の勤務体系を、下表の選択肢から選び、番号を記入して下さい。※休息期間のみ、「最も短い運転者」の実態を記入して下さい。

労働時間の項目	最も長い運転者		平均的な運転者	
	具体的な時間	勤務体系	具体的な時間	勤務体系
1か月の拘束時間	時間		時間	
1日の拘束時間	時間		時間	
休息期間	※ 時間		時間	
1日の運転時間	時間		時間	
1週間の運転時間	時間		時間	
連続運転時間	時間		時間	
1日の手待ち時間	時間		時間	
1か月の総労働時間	時間		時間	
1か月の時間外労働時間	時間		時間	

勤務体系の選択肢

1. 長距離貨物輸送を担当
2. 日帰り貨物輸送を担当
3. 長距離及び日帰りの両方を担当

問5. 貴社のドライバーの過不足の状況について、該当すると思われる番号1つに○印をつけて下さい。

1. 不足している（具体的に不足している人数は何人ですか。_____人）

2. 不足していない

3. わからない、どちらともいえない

問6. ドライバーが不足している場合、どのような対応をとっていますか。該当する番号全てに○印をつけて下さい。（複数回答可）

1. ドライバーの早出残業で対応している

2. ドライバーの休日出勤で対応している

3. 予備のドライバーで対応している

4. 事務職・管理職で対応している

5. 下請・傭車で対応している

6. 対応できず輸送を断っている

7. その他（具体的に_____）

問7. 荷主との取引関係について、それぞれおおよその割合をご回答下さい。複数の営業所をお持ちの場合は合わせて全体でご回答下さい。

内 訳	元請けとして 直接取引している 真の荷主数		下請けとして 入っている 元請け荷主数	
	社		社	
時間指定の有無	時間指定あり	%		%
	午前・午後の指定あり	%		%
	時間指定なし	%		%
	計	100%		100%
荷役作業の割合	手荷役	%		%
	パレット崩し手荷役	%		%
	フォークリフト荷役 (ボラバ-が作業)	%		%
	フォークリフト荷役 (荷主側が作業)	%		%
	ローパ-ックス荷役	%		%
	その他	%		%
	計	100%		100%
上記荷役作業以外の 付帯作業(※)の 割合	上記荷役作業以外の付帯作業あり	%		%
	上記荷役作業以外の付帯作業なし	%		%
	計	100%		100%
荷役作業、付帯作業 に対する 書面化の有無	書面化している	%		%
	口頭で依頼	%		%
	事前連絡なし	%		%
	計	100%		100%
荷役料金の 収受の有無	収受している	%		%
	収受していない	%		%
	計	100%		100%
車両留置料の 収受の有無	収受している	%		%
	収受していない	%		%
	計	100%		100%
高速道路料金の 収受の有無	収受している	%		%
	収受していない	%		%
	計	100%		100%
路上駐車 の発生の有無	発生している	%		%
	発生していない	%		%
	計	100%		100%

(※) 荷役作業以外の付帯作業とは、「棚入れ」「保管場所までの横持ち運搬」「資材、廃材等の回収」「商品仕分け」「検品」「納品場所の整理」「ラベル貼り」などとなります。

問 8. 荷主企業に対して時間短縮（作業効率化）への協力を依頼したことがありますか。該当する番号全てに○印をつけ、協力を依頼した内容とその得られた程度、協力を依頼できなかった理由をそれぞれご記入下さい。

1. 真荷主に協力を依頼した

協力依頼の具体的内容：例；配達先の手待ち時間短縮、到着時間の変更など

上記について、約 %の協力を得られた

2. 元請け運送事業者に協力を依頼した

協力依頼の具体的内容：例；配達先の手待ち時間短縮、到着時間の変更など

上記について、約 %の協力を得られた

3. 協力依頼をしたができない

協力依頼できない理由は何ですか。

4. 協力依頼をしたことはない

問 9. 労働時間短縮に向けて必要な対応についてお聞きます。それぞれ該当する番号全てに○印をつけて下さい。（複数回答可）

(1) 荷主側で必要と思われること

1. 荷役の機械化等による荷役時間の削減
2. 商慣行の改善（具体的に
3. 発注時刻の厳守・前倒し
4. 出荷時刻の厳守・後倒し
5. 出荷時刻の厳守・前倒し
6. 荷役作業の削減・解放
7. 配達先への配達指定時刻の延長・柔軟化
8. 配達先での手待ち時間の削減への口添え
9. 物流施設の拡充・整備
10. その他（具体的に

(2) トラック運送業界全体として必要と思われること

1. 発荷主へのPR
2. 着荷主へのPR
3. 契約の書面化の徹底
4. 適正運賃の收受
5. 荷役作業の削減・解放に向けた規格の統一
6. その他（具体的に

)

(3) 行政等への協力要請が必要と思われること

1. 関係行政間での連携強化
2. 荷主団体へのPR
3. 契約の書面化の徹底
4. 荷役作業の削減・解放に向けたパレット等規格の統一
5. 協力のない荷主に対する指導・警告
6. その他（具体的に

)

問 10. 長労働時間の実態や問題点、労働時間短縮に向けたお考えやご意見があれば、ご自由にご回答下さい。

--

ご協力ありがとうございました。

トラック輸送状況の実態調査票

厚生労働省
国土交通省

【ご記入に当たって】本調査は統計的に処理します。この調査結果の具体的なデータを運輸支局や労働基準監督署による監査等に使用することはありませんので、実態を正確にご記入下さい。

年齢： 歳 性別： 1. 男・2. 女 使用車両： 1. 大型(車両総重量11t以上)・2. 中型(車両総重量5t以上11t未満)・3. 普通(車両総重量5t未満)・4. トレーラ

1日目： 9月14日(月) 始業時間 9月 日 : 終業時間 9月 日 : 走行距離 km 集配箇所数 力所 実車距離 km

時間項目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	始業から終業までの時間の合計
点検・点呼等																										点検等 :
運転時間	一般道路																									運転(一般) :
	※2 高速道路																									運転(高速) :
手待ち時間 ※3 (A～Cは中央下の例を参考にしてください)	A. 荷主都合																									手待ちA :
	B. ドライバーの自主的な行動																									手待ちB :
	C. その他時間調整等																									手待ちC :
荷役時間																										荷役 :
上記及び休憩時間以外のその他付帯作業等																										付帯作業 :
休憩時間																										拘束 :

※1：荷役等の作業した荷主毎に上の欄に①からの荷主番号を振り、その荷主の状況を別途下欄に記入して下さい。記載例を参考にしてください。

※1：上記の荷主番号の荷主名をご記入いただき、その荷主の状況をそれぞれ下段の選択肢から番号を1つ選んでご記入下さい。なお、ドライバーご自身でわからない場合は、「運行管理者」や「配車担当者」に確認して、記入して下さい。

荷主番号	荷主名 (具体的な名称を可能な範囲で記入して下さい)	輸送品目	発荷主/着荷主 ※発・着両方の場合、右の設問は「着」の状況についてご記入下さい。	時間指定の有無	荷役の内容	荷役の方法	荷主あるいは元請との間での荷役に対する書面化等の有無	荷役料金の収受の有無	※2 高速道路を利用した場合、料金収受の有無	その他付帯作業等の内容 【この設問のみ複数回答可】 (下記の選択肢にない場合は具体的に記入して下さい)
①										
②										
③										
④										
⑤										
⑥										
⑦										
⑧										
⑨										
⑩										

※上記の荷主が10カ所を超える場合は、予備の調査票を利用して記載して下さい。

- 米・麦・穀物
- 生鮮食品
- 加工食品
- 飲料・酒
- 原木・材木等の林産品
- 鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品
- 鉄鋼厚板・金属薄板・地金等金属素材
- 鋼材・建材などの建築・建設用金属製品
- 壁紙・タイルなど住宅用資材
- 金属部品・金属加工品(半製品)
- セメント・コンクリート・コンクリート製品
- ガソリン・軽油など石油石炭製品
- 合成樹脂・塗料など化学性原料
- 医薬品
- その他の化学製品
- 紙・パルプ
- 糸・反物などの繊維素材
- 衣服・布匹などの繊維製品
- 日用品
- 書籍・印刷物
- プラスチック性部品・加工品、ゴム性部品・加工品
- 機械ユニット・半製品
- 精密機械・生産用機械・業務用機械
- 家電・民生用機械
- 完成自動車・オートバイ
- 再生資源・スクラップ
- 廃棄物
- 宅配便・特積み貨物
- 空容器・返送資材
- その他

- 発荷主
- 着荷主
- 発・着両方

- 積込み
- 荷卸し
- 積込み・荷卸し両方

- 時間指定あり
- 午前・午後の指定あり
- 時間指定なし

- 手荷役
- パレット崩し手荷役
- フォークリフト荷役(ドライバーが作業)
- フォークリフト荷役(荷主側が作業)
- ローカルガソリ荷役
- その他

- 書面化している
- 口頭で依頼
- 事前連絡なし

- 運賃に含んで収受している
- 運賃とは別に実費収受している
- 収受していない

- 梱入れ
- 保管場所までの横持ち運搬
- 資材、廃材等の回収
- 商品仕分け
- 検品
- 納品場所の整理
- ラベル貼り

※3：手待ち時間の分類

- 荷主都合：集荷・配送の際に卸す車両の順番待ちやパース待ち、荷物が整わないための待ち時間、積み荷までの待ち時間等、荷主の都合で発生する手待ち時間
- ドライバーの自主的な行動：指定時間よりも早めに到着したための待ち時間等
- その他の時間調整等：高速道路の割引時間等に合わせるための調整時間等、その他の調整時間

荷主から無理な指示などになっている理由や背景など、本件に関するご意見等あれば自由に回答して下さい。

現場における課題と改善点の 見える化事業について

平成27年12月8日
中部運輸局自動車交通部貨物課

現場における課題と改善点の見える化事業の概要

事業の目的

- ・トラック運送業の生産性向上の観点から、物流現場における課題を確認し、現場の改善に向けたコミュニケーションを促す取り組みが求められている。
- ・トラック運送業における書面化ガイドラインの推進の取り組みにおいても、運賃・燃料サーチャージ、附帯業務内容及び附帯業務料などの項目において書面化がすすんでいない実態もある。
- ・これは、荷主が物流現場の実態を把握できていないことが要因になっていることが想定されるため、着荷主側の現場を含めた検証を進める。

事業の概要

- ① 荷主を対象に、発荷主・着荷主の現場における物流現場の実態、その把握の状況、取引先との物流条件の情報交換・交渉の状況についてアンケート調査を実施する。
- ② 回答のあった荷主企業へのヒヤリングによりアンケート調査結果を補完する。
- ③ アンケート調査結果およびヒヤリング結果をもとに、発荷主側の状況（積込時における状況）、着荷主側の状況（荷おろし時における状況など）について、現状を整理する。

検討会のメンバー（敬称略）

土井義夫	朝日大学経営学部経営学科 准教授
小池良	中部トラック協会 専務理事
遠藤直也	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会中部支部 部長
鈴木至	日本通運株式会社名古屋支店 次長（業務）
小林直人	中部運輸局自動車交通部貨物課 課長
古橋靖弘	中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送担当）

検討のスケジュール

平成27年11月19日現場における課題と改善点の見える化事業検討会を設置	平成28年 1月 調査票の集計・分析、荷主ヒヤリングの実施
11月～12月対象事業者へ調査票を配布、回収	平成28年2～3月 調査の集計結果、報告書のとりまとめ

調査の目的

○本調査は、物流の生産性をいかに高めるかという観点で、長時間に及ぶトラック運送業の総労働時間の要因のなかには、荷主都合による手待ち時間の発生や、輸送・荷役作業・付帯作業等の長時間化など、トラック運送事業者のみの努力では改善が困難な点もあることから、物流現場における実態や、**発荷主、着荷主、トラック運送事業者の三者の間における改善に向けたコミュニケーションに係る課題、改善点**等を明らかにし、今後の労働時間短縮に向けた対策検討の基礎資料を収集することを目的に実施する。

調査の対象

○**中部運輸局管内5県**(愛知、静岡、岐阜、三重、福井)に所在する荷主(製造、卸、小売)で、一定の規模のある500事業所。

調査の内容

○荷主の事業所(製造、卸、小売)の物流担当者あてにアンケート調査票を送付し、**荷主における3つの物流現場**について調査。

A. 発荷主として出荷時の現場、 B. 発荷主として納入先における納入時の現場、 C. 着荷主として入荷時における現場

○主な調査内容は、3つの物流現場それぞれの実態、及び取引先との物流条件の交渉、情報交換の状況など。

- ①時間指定の有無、積み込み時間の把握状況、手待ち時間の発生の有無、手待ち時間の把握状況および発生理由
- ②附帯作業の発生の有無および作業時間
- ③トラック事業者からの改善要望の有無および改善状況
- ④取引先との物流条件等の交渉や情報交換の状況
- ⑤ドライバー不足の実感、改善基準告示の内容把握、契約の書面化の状況 等

○**手待ち時間や附帯作業の発生現場、待ち時間や作業時間、発生理由、改善に向けた情報の流れ**などについて3つの物流現場の実態や品目による傾向を分析する。

調査の期間

平成27年11月末 対象事業者へアンケート調査票を配布
12月 アンケート調査票を回収

平成28年2～3月 調査の集計結果、報告書のとりまとめ

KASUMI

改善活動とソーシャルシフト



1. Company introduction (株式会社カスミ)

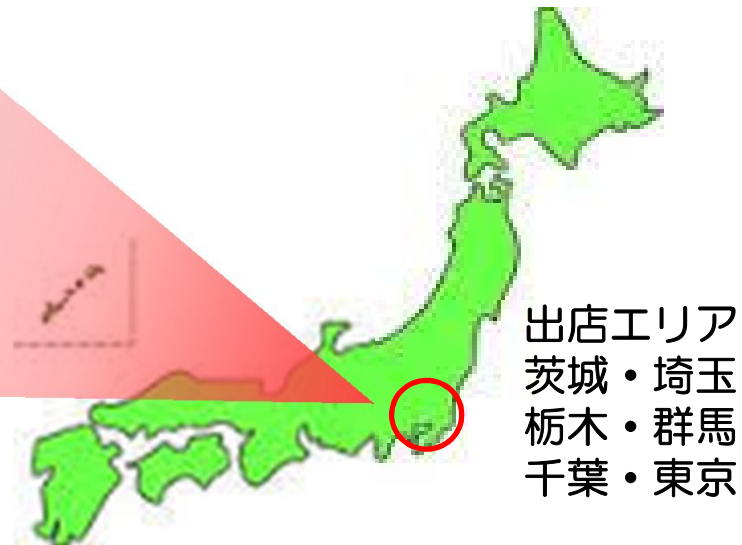
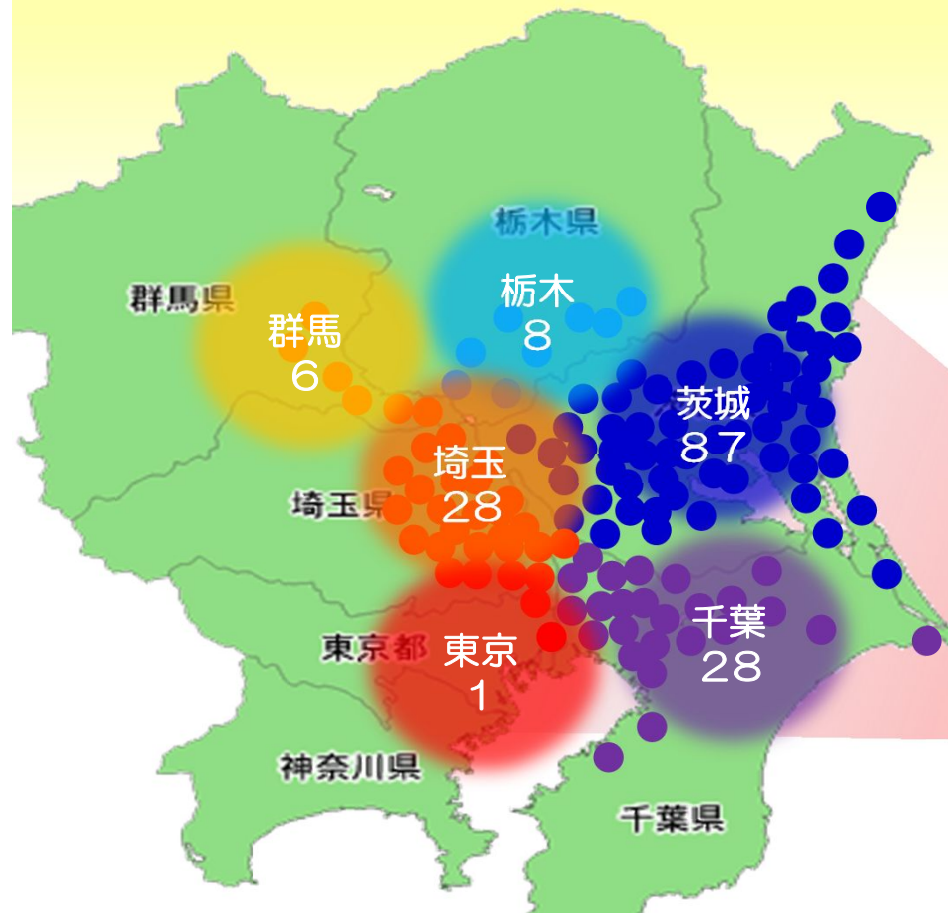
Supermarket

KASUMI
いいね！をよろこびに

スーパーマーケット
店舗数：161店舗



- ◇創業 1961年
- ◇店舗数 161店舗
- ◇資本金 144億28百万円(2014年2月末)
- ◇営業収益 2,334億13百万円(2014年2月期)
- ◇本社 茨城県つくば市
- ◇事業内容 食料品、家庭用品、衣料品等の小売販売を行うスーパーマーケット事業



出店エリア
茨城・埼玉
栃木・群馬
千葉・東京

カスミの改善活動

6つの物流品質

【物流品質】

1. 納期品質

店舗へ約束した店着時間をどの位正確に遵守出来るか。遅延欠品が無い。

2. 商品品質維持品質

配送する商品の機能品質を損なわず、店舗に届けられる水準。破損、劣化が無い。

3. 正確性品質

仕分ミスや配送ミスが無い。部門別、カテゴリー別仕分けがされて、混載は2部門まで。

4. 事故防止品質

交通事故やセンター内でのシステムトラブル、労災、作業事故等が無い。安全管理の水準。

5. 環境貢献品質

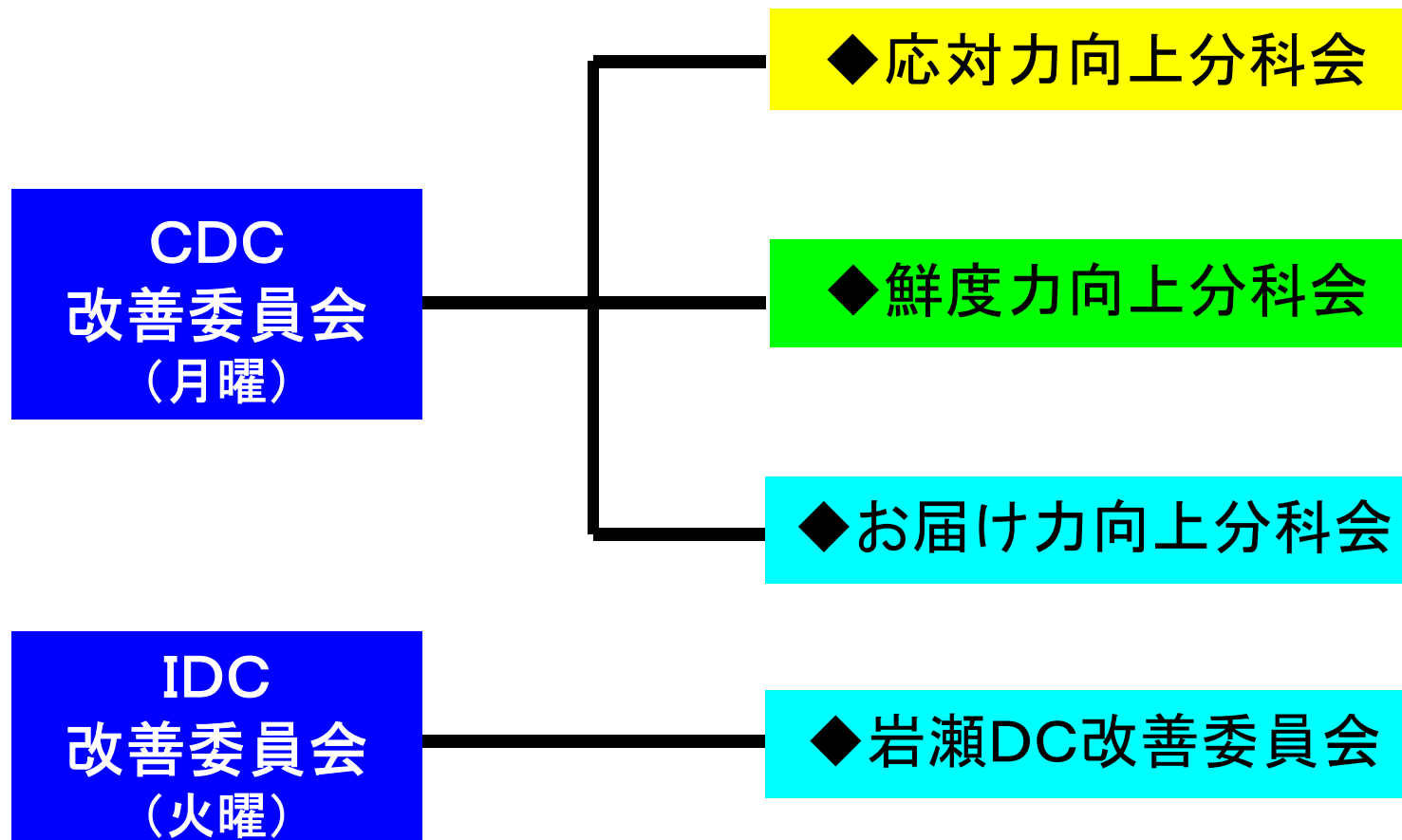
排ガス対策、エネルギー対策、廃棄物削減対策、地球環境への貢献水準。人に優しい運転等。

6. 印象品質

ドライバーをはじめ、物流サービスを提供する人間の気持ちの良い態度、印象の水準。

具体的な行動につなげられる指標

◇ 改善委員会と分科会の立ち上げ ◇



**お互いの考え方・行動を理解する為の
コミュニケーションの場作り**

◇ カイゼン事例一覧 ◇

1.【現場説明会資料】

CDC改善の考え方

平成16年 9月 13日

豊田自動織機

L&Fカンパニー 神谷

第1回. 業務改善プロジェクトの提案

報告内容

1. 改善項目
2. 改善イメージ
3. プロジェクト関連図
4. プロジェクトスケジュール案
5. プロジェクト手順
6. プロジェクト推進体制案

第2回 2004. 11. 18

1. KDC特売出荷作業改善
2. ドライ構内仕分け作業改善
3. 多回配送
4. 4便の店舗拡大
5. トップバリュ商品のリードタイム短縮

第3回 2005. 1. 20

1. KDC特売出荷作業改善
2. ドライ構内仕分け作業改善
3. 配送システムの改善
4. 多回配送の推進
5. 特売システムの改善
6. 小分けゼロ化

第4回 2005. 6. 8

1. KDC特売出荷作業のさらなる改善
2. ドライ構内仕分け作業改善
3. 特売品の販売日2日前店舗納品
4. 青果台車積み仕分け実施によるドライバー
積み込み作業時間の削減。
5. チルド構内委託費の削減
6. 多回化配送の推進
7. 配送システムの改善
8. 小分け作業改善

第5回 2005. 11. 16

1. 台車への商品積み方見直し
2. 青果商品台車積み仕分けの推進
3. ドライ菓子取引先様物流センター滞留時間改善
4. 酒特売品検収方法変更
5. KDC小口特売コーナーの更なる改善
6. KDC第2倉庫・中貫倉庫の横持ち体制作り
7. KDC2便商品のIDC横持ち配送について
8. 物流の共有情報の体系化と物流情報の発信

◇ カイゼン事例一覧 ◇

事例数:33

第6回 2005. 11. 16

1. 台車への商品積み方見直し
2. 青果商品台車積み仕分けの推進
3. ドライ菓子取引先様物流センター滞留時間改善
4. 酒特売品検収方法変更
5. KDC小口特売コーナーの更なる改善
6. KDC第2倉庫・中貫倉庫の横持ち体制作り
7. KDC2便商品のIDC横持ち配送について
8. 物流の共有情報の体系化と物流情報の発信

第8回 2006. 7. 13

1. カスミ統一容器貸出し管理改善
2. ドライバーの意識改革
3. 6t車の活用によるコスト削減
4. 早朝便配送台車店内引込み
5. カテゴリー仕分けの推進 総括編
6. 岩瀬センター40店舗体制への取り組み
7. グロサリー大陳の改善提案
8. パートナー社員業務の大部屋化
9. 物流部 改善推進体制

第7回 2006. 3. 17

1. 惣菜の区分仕分け
2. 和風日配の区分仕分け
3. 青果の台車仕分け
4. 早朝便台車店内引込み改善
5. KDC第2倉庫・中貫倉庫の横持ち改善
6. 店舗搬入口の提案 “搬入口は私たちの玄関です”
7. 物流情報の発信

第9回 2006. 12. 13

1. ドライバーの意識改革
2. チルドエリアの物流品質改善
3. グロサリー大陳運用改善
4. ドライ改善総括編
5. KDC高床エリア作業改善
6. カスミ統一容器貸出し管理改善
7. 容器置場の改善
8. 事務所内業務の大部屋化
9. 店舗アンケート要望への対応状況

◇ カイゼン事例一覧 ◇

事例数:30

第10回 2007. 3. 29

1. やっと1年生…ドライバー意識改革
2. 遊休地が更に増えた容器置場改善
3. 店舗が要望するカテゴリー仕分けとは
4. 部門別仕分けへの挑戦…ドライ編
5. 統一容器計画的洗浄への挑戦
6. 事務所内業務の大部屋化
7. 「1鈴で出る」電話対応とは…
8. 岩瀬DC40店舗体制とは…

第12回 2007. 11. 7

1. ドライバーお届け力UPへの更なる挑戦…教育編
2. CO2削減へ向けて…実験結果報告と今後の取組み
3. ドライ9部門混載改善…第2弾
4. カテゴリー別仕分けへの更なる挑戦 … 生鮮部門編
5. 「店舗問合せ対応力向上」への取組み … 教訓編
6. 事務所内業務大部屋化の更なる進化
7. カスミ中貫DC稼動…稼動後運用計画

第11回 2007. 7. 27

1. ドライバーの意識改革
2. お届け力UPへ向けた更なる挑戦！
3. 環境貢献品質とは…CO2削減へ向けて
4. 構内作業の「安・正・早・楽」…チルド編
5. 作業4Sの更なる進化…ドライ編
6. ついに動き出した事務所内業務DSP！
7. 「1鈴で出る」電話対応から「取継ぎ時間の短縮」へ！
8. カスミ中貫DC稼動…中間報告

第13回 2008. 3. 26

1. CO2削減活動報告…第3弾 エコレーススタート
2. 女性に優しい物流とは…第1弾 津田店様との取組み
3. 問合せ件数の削減に向けて…内容の分析
4. 大部屋化の更なる進化…作業時間短縮と遊休時間の有効活用
5. ドライバーの安正早楽…店舗環境の見える化
6. 商品値上げ抑制へのチャレンジ…第1弾 栃酪様との取組み
7. カスミ中貫DC稼動…稼動後運用状況報告

◇ カイゼン事例一覧 ◇

事例数:36

第14回 2008. 7. 9

1. 物流品質向上へのチャレンジ …… 配送編
2. 商品未着の問合せ削減に向けて
3. 女性に優しい物流とは …… 第2弾 ドライ編
4. CO2削減活動報告 …… 総括編
5. 事務業務の多能化 …… 創出時間活用編
6. ゴミゼロ事業所を目指して …… 入門編
7. 構内作業の多能化とは …… IDC構内編
8. オリコンの積載率改善 …… IDCドライ編

第16回 2009. 4. 8

1. 配送事故撲滅活動…物流品質向上編
2. CO2活動…2008年度エコレース総括編
3. 入荷車輛ジャストインタイム化の実現…中貫DC編
4. 事務処理業務の多能化… 創出時間の活用報告
5. 構内作業改善その後…青果編
6. ドライ事務作業の大部屋化
7. IDC改善報告 仕分効率化への取組み…チルド編
8. IDC改善報告 管理標準化と荷繰り工数削減…ドライ編
9. 岩瀬DC配送調査途中経過報告
10. ロジスティック部システム 改善推進体制について

第15回 2008. 11. 6

1. 配送事故撲滅へのチャレンジ
2. CO2削減活動報告 ……『1年間やって来て』編
3. ドライ商品積み方改善 …… 全店拡大に向けて
4. 構内作業改善とは …… 青果編
5. 『見える』物流センターとは …… 中貫DC編
6. エコモデル事業所を目標にやって来た事とは ……
7. 問合せデータを更に分析してみたら ……
8. 創出時間を活用して更なるチャレンジへ
9. 多能化から能力評価制度確立へ …… IDC編
10. リサイクルセンター稼働報告

第17回 2009. 7. 8

1. 事故防止品質向上対策…配送チーム
2. 作業の「原単位」とは…岩瀬DCチーム
3. 構内作業のムダ取り…青果チーム
4. パン検収付帯作業削減…チルドチーム
5. ドライ事務作業大部屋化…ドライ事務チーム
6. 創出時間の更なる活用…多能化チーム
7. ドライ構内作業大部屋化…ドライ構内チーム
8. 入荷のジャストインタイム効果…中貫DCチーム

◇ カイゼン事例一覧 ◇

事例数:29

第18回 2009. 11. 5

1. 商品部・取引先との連携による青果作業改善・・・青果チーム
2. 前準備作業の改善・・・和風日配チーム
3. KDCとの連携による構内作業改善・・・ドライ構内チーム
4. 取引先との連携による保管在庫量削減・・・中貫DCチーム
5. 事務作業の効率化とDSPの更なる進化・・・多能化チーム
6. リサイクルセンター構内作業の大部屋化・・・リサイクルチーム
7. 仕分けミス撲滅と構内作業効率化・・・岩瀬DCチーム
8. IDC店舗の配送システム変更による配送車両数改善・・・配送チーム

第20回 2010. 7. 14

1. チルド訓練道場とは・・・チルドチーム
2. 他部門との連携とは・・・ドライ事務大部屋化チーム
3. 110店舗体制へのチャレンジとは・・・ドライ構内チーム
4. 現場の気付き力とは・・・2F事務多能化チーム
5. 製品置場の見える化とは・・・リサイクルセンターチーム
6. IDC大部屋化のすすめ 標準作業票作成とは・・・岩瀬DC
7. カップ麺出荷物量に対応した最適化とは・・・中貫DC

第19回 2010. 3. 11

1. チルド前準備作業の改善・・・洋風日配チーム
2. 作業効率の向上と大部屋化・・・リサイクルチーム
3. 小分けエリアアウト変更による在庫物量の適正化・・・中貫DC
4. 創出時間の更なる活用・・・多能化チーム
5. ドライ事務作業の大部屋化・・・ドライ事務チーム
6. チルド事務作業の効率化・・・チルド事務チーム
7. CDC大部屋化方式導入によるIDC大部屋化の奨め・・・岩瀬DC

第21回 2010. 11. 10

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 105店舗対応へのチャレンジ | チルド青果チーム |
| 2. FO店舗集約による改善効果 | チルド和風日配チーム |
| 3. ドライ全体大部屋化を目指して | ドライチーム |
| 4. 配送事故削減に向けて | 配送チーム |
| 5. 現場の気付き力・・・第2弾 | 2F事務多能化チーム |
| 6. ケースエリアの生産性向上を目指して | 中貫DCチーム |
| 7. 関連部署との連携による3つの改善 | 岩瀬DCチーム |

◇ カイゼン事例一覧 ◇

事例数:29

第22回 2011. 6. 15

1. 構内のスペース不足対策とは? ……洋風日配チーム
2. チルド事務作業の効率化 ……チルド事務チーム
3. 現場の気づき力 第4弾 ……多能化チーム
4. ドライ構内と配送部門との連携 ……ドライチーム
5. ごみゼロ事業所を目指して...3年間の歩み ……エコ分科会
6. CDC節電対策について ……CDC節電対策プロジェクト

☆ 2011年全日本物流改善事例大会出場テーマ ☆

1. 納品台車管理システムの構築による
事務所作業時間の短縮 ……中貫DCチーム
2. 関連部署との3つの連携～3PLの役割とは… 岩瀬DCチーム

第24回 2012. 3. 8

1. 分荷リスト入力時間の削減 ……チルド事務チーム
2. 乗務員が荷繰りしない積み方とは… ……洋風日配チーム
3. 作業項目の見直しによる作業時間の削減 ……多能化チーム
4. 後工程を考えた出荷方法の構築による
台車積載効率の向上 ……中央DCチーム
5. 岩瀬店舗出荷スペースの有効活用 ……ドライ構内チーム
6. IDC大部屋化のすすめ～チルド・青果編 ……岩瀬DCチーム
7. 水戸三社との連携による鮮魚品積み方改善…水戸市場チーム
8. CDCの印象品質目標90%に向けて ……挨拶・身嗜みチーム

第23回 2011. 12. 2

1. 構内レイアウト見直しによるスペース創出 ……青果チーム
2. 後工程(お客様)目線での積み方改善 ……和風日配チーム
3. 入門許可証改善と配送業務軽減に向けて…多能化チーム
4. ヒューマンエラー(うっかりミス)の撲滅対策 ……中央DCチーム
5. 構内と配送の連携によるバースの効率化…岩瀬DCチーム
6. 店舗問合せ削減へのチャレンジ ……応対力向上チーム
7. 後工程(お客様)目線での積み方改善 ……水戸市場チーム

第25回 2012. 8. 30

1. 4S活動の起点に立ち返る ……チルドチーム
2. 新倉庫開設と立ち上げ ……KDC千代田倉庫チーム
3. 仕訳業務を3日までに終了するためには…多能化チーム
4. 「失敗から学ぶ」とは ……岩瀬DCチーム

☆ 2012年全日本物流改善事例大会出場テーマ ☆

1. ヒューマンエラー対策、ミスを無くす工夫と仕組みづくり
……KDC中央DCチーム
2. 離職率の削減と組織改革 ～Winの循環型改善推進とは～
……岩瀬DCチーム

◇ カイゼン事例一覧 ◇

事例数:31

第26回 2013. 4. 11

1. 気づきによる空台車搬入動線の改善 ……青果チーム
2. 年末の統一容器不足対策 ……容器洗浄チーム
3. 創出時間を利用した構内作業支援とは ……チルド事務チーム
4. 省人化を達成して判った事 ……事務大部屋チーム
5. たかがカンバン、されどカンバン ……ドライ構内チーム
6. 印象品質目標90%を達成するために…挨拶・身嗜みチーム
7. 仕分リスト改善による店番書き作業の効率化…和日配チーム
8. 岩瀬DC60店舗体制へ向けて ……岩瀬DCチーム

第28回 2014. 1. 16

1. ラベル仕分けシステム導入効果とは… 和日配チーム
2. 仕分け間違いによる検品時間の削減 惣菜チーム
3. 顧客感動への取り組み…チルド構内編 洋日配チーム
4. 顧客感動への取り組み…ドライ構内編 ドライ構内チーム
5. 取引先を巻き込んでの容器不足対策とは… 洗浄チーム
6. 「無くせないか・減らせないか・変わらないか」大部屋化チーム
7. 契約社員の離職率改善への取り組み KDCチーム

第27回 2013. 8. 22

1. 配送事故撲滅対策中間報告 配送チーム
2. 季節入替え品出荷方法の構築 KDCチーム
3. 惣菜仕分け作業の効率化 惣菜チーム
4. 経理部との連携による仕訳業務改善 大部屋化チーム
5. 繁忙期の統一容器不足対策…第2弾 洗浄チーム
6. 乗務員の作業軽減を目指して ドライ構内チーム
7. 私たちにできること 顧客感動への取り組み ドライ検収チーム
8. カスミグリーンの作業改善 店舗オペレーション部

第29回 2014. 6. 27

1. 空歩行の低減 和日配・鮮魚チームとの連携事例
洋日配チームとの連携事例
青果チームとの連携事例
 2. 顧客感動への取組み(中間報告)… ドライチーム
 3. 他部署との連携によるなくせないか減らせないか変わらないか
大部屋化・洗浄チーム
 4. 岩瀬DC60店舗へのチャレンジ(中間報告)… 岩瀬DCチーム
- ☆ 2012年全日本物流改善事例大会出場テーマ ☆

事務による改善推進「カスミ事務大部屋化方式」とは…齊藤(雅)・羽成
機械だけに頼らない人間力による改善 飯塚運輸 豊岡真人

◇ カイゼン事例一覧 ◇

事例数:24

第30回 2014. 11. 6

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 青果仕分け動線短縮の歩み | 青果チーム |
| 2. ラベル仕分導入による効果 | 洋風日配チーム |
| 3. チルド商品3便化の取組み構内作業編 | 和風日配チーム |
| 4. 顧客感動への取組み 検収待ち時間削減 | ドライチーム |
| 5. 契約社員の定着率向上への取組み2 | KDC事務所チーム |
| 6. 事務作業の効率化を目指して | 大部屋化チーム |
| 7. チルド商品3便化中間報告 | カスミ物流チーム |

第32回 2015. 7. 3

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 店舗との連携による訂正入力作業削減 | チルド事務チーム |
| 2. システムとの連携による鮮魚作業効率化 | 鮮魚チーム |
| 3. 前倒し納品による物量平準化 | 洋風日配チーム |
| 4. 時間帯別スペース創出へのチャレンジ | 青果チーム |
| 5. お取引様のCDC仕分け作業改善 | ドライ事務チーム |
| 6. 契約社員離職率改善(初年度結果) | KDC事務所チーム |
| 7. ローズとの連携による容器洗浄作業改善 | 洗浄チーム |
| 8. 高速利用表書式改善による作業時間削減 | 大部屋化チーム |
| 9. 商品部大部屋化とは(中間報告) | 商品部チーム |

第31回 2015. 3. 12

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 洋風日配ラベル仕分け導入効果 | 洋風日配チーム |
| 2. チルド訂正入力作業削減改善 | チルド事務・システムチーム |
| 3. 外部倉庫活用による新店スペース創出 | 和風日配チーム |
| 4. 青果作業所の新店スペース創出 | 青果チーム |
| 5. 外部倉庫活用による新店スペース創出 | ドライ検収チーム |
| 6. 離職率削減への取組み(中間報告) | KDC事務所チーム |
| 7. 高速利用費の事務作業削減(中間報告) | 大部屋化チーム |
| 8. CDCのエコ活動報告 | エコ分科会チーム |

◇ カイゼン事例一覧 ◇

カイゼン事例件数 2004年～2015年

248事例

日本ロジスティクスシステム協会主催
J I L S 物流改善事例大会出場事例

■ J I L S 全国大会 2010
(KDCチーム 全国1位)
(岩瀬DCチーム 全国2位)

■ J I L S 全国大会 2011
(岩瀬DCチーム 全国1位)
(KDCチーム 全国2位)

■ J I L S 全国大会 2012
(岩瀬DCチーム 全国1位)
(KDCチーム 入賞)

■ J I L S 全国大会 2014
(CDCチルドチーム 全国1位)
(カスミ事務チーム 全国2位)

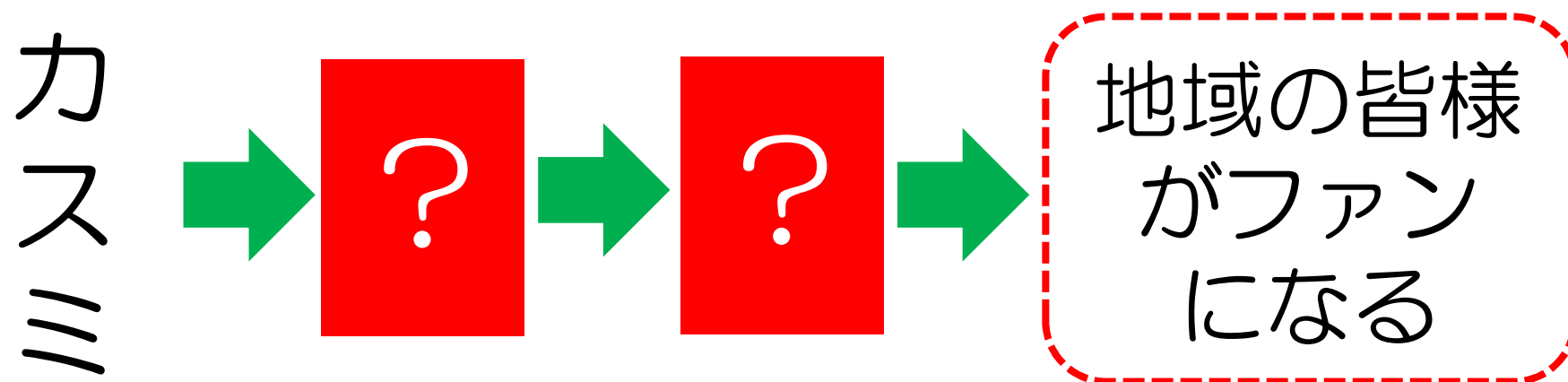
■ J I L S 全国大会 2015
(カスミチルドチーム 入賞)
(カスミドライチーム 入賞)

改善活動と ソーシャルシフト



企業価値の考え方

私たちが目指すビジネスモデル

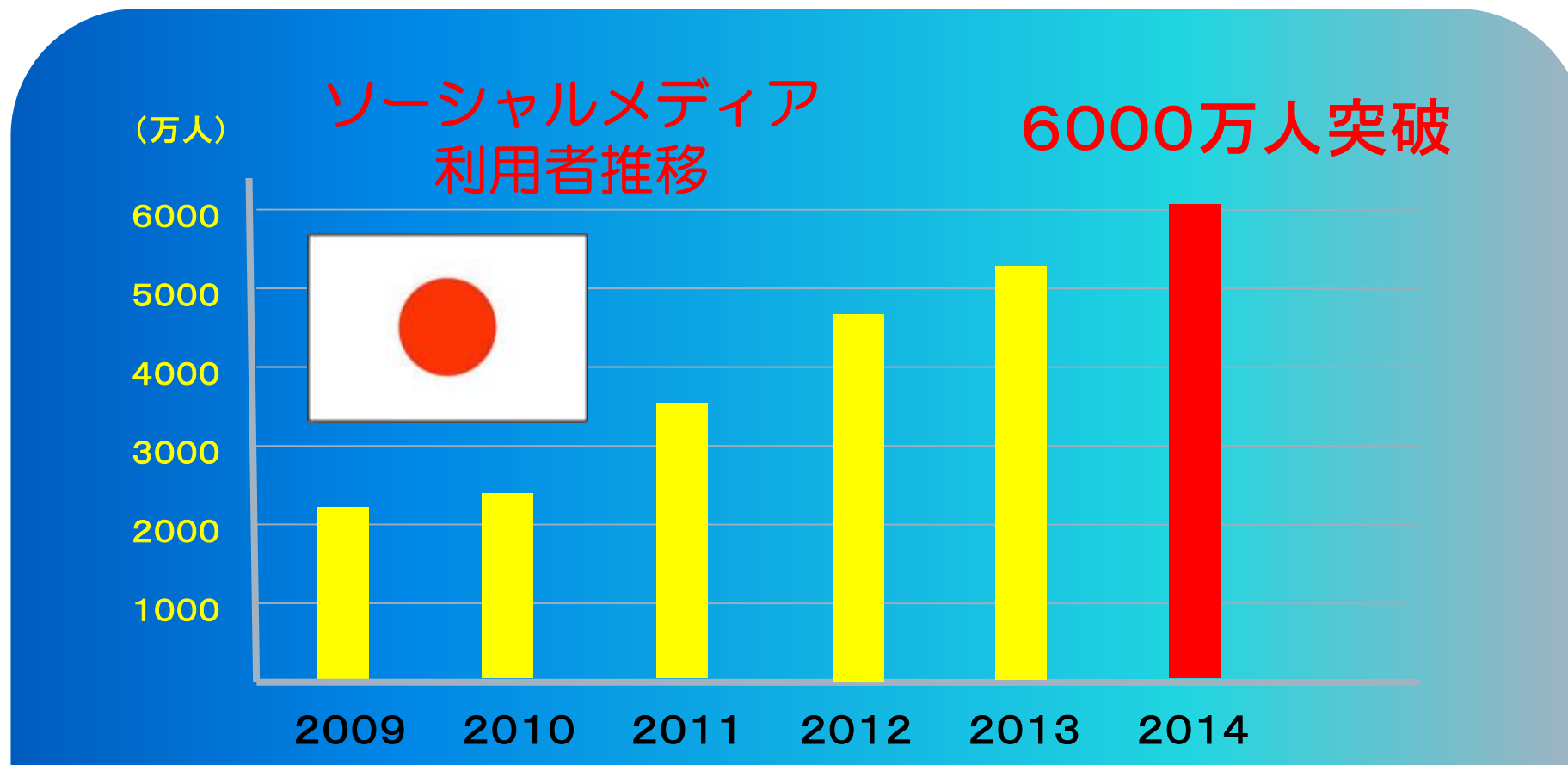


ソーシャルシフトの経営

ソーシャルシフト

SNSによるコミュニケーションの拡大は
情報伝達方法と価値観を大きく変えた・・・

共感をより多く得たホンモノが生き残る時代



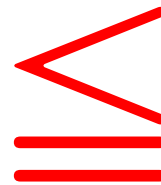
ソーシャルシフト

× 情報を
信用する



人を
信用する ○

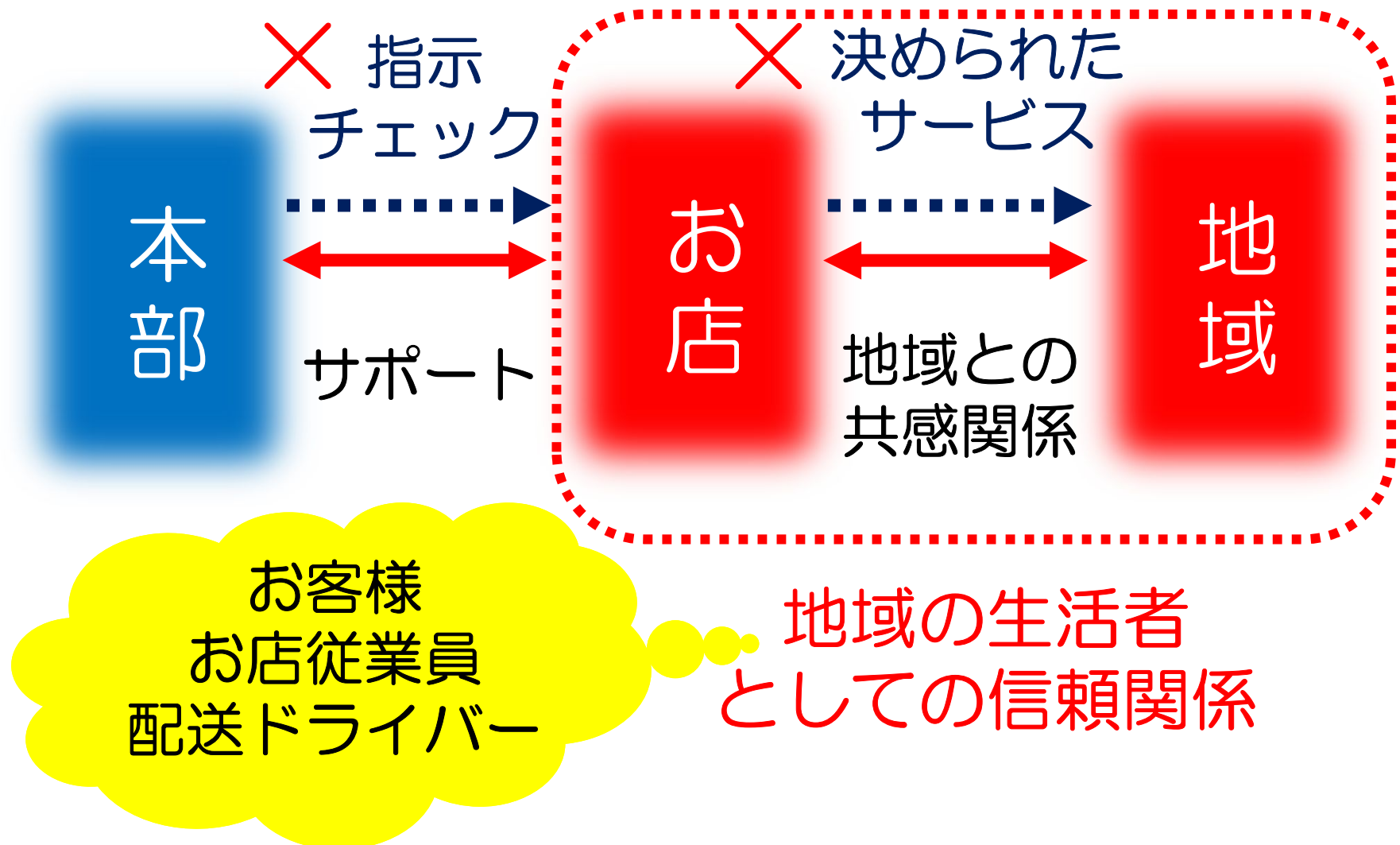
チラシ・CM
マネキン・営業
伝達



身近な人の感想
『いいね』の数
共感

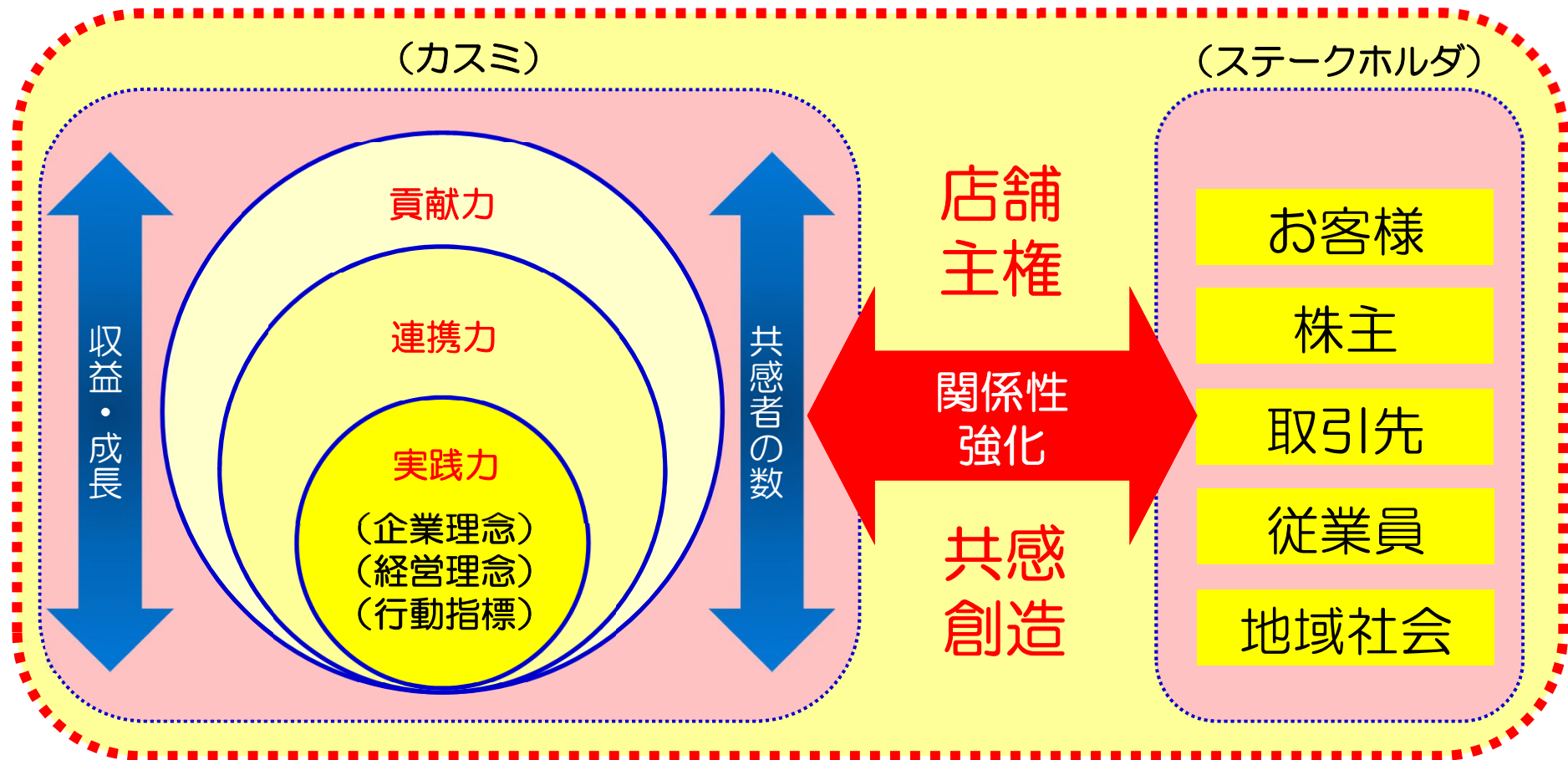
ソーシャルシフト

新たな関係性の構築



経営方針の転換（本部主導型から現場主導型へ）

人の価値＝企業の価値



価値観の共有化

優先する行動指標（カスミの価値観）

カスミの価値観

カスミは
「よろこびを分かちあえる食卓づくり」
を使命とします。

いつだって食卓には夢があります。
だれだって食卓には希望をもちます。
その夢や希望を育むために私たちの仕事があります。
私たち一人ひとり決して強くはありません。
でも人をつなぐ絆の強さ、地域への想いの強さは
私たちの誇り。誰にも負けない自信があります。
人をしあわせにできるのが私たちの仕事、
だから自分たちもしあわせになれると信じます。
よろこんでいただくことをよろこびに
カスミはだれもが安心・元気・笑顔になれる
商品とサービスの提供をお約束します。

「誇り」に思えるチームをつくるために

- ・ 相手以上に相手を思い、目標に向かって協力しあう。
- ・ まず受け入れる、そして互いの考えを伝え合う。
- ・ お客さまから「ありがとう」と言われる仕事、
家族に胸を張れる働き。

「ホスピタリティ」あふれるチームをつくるために

- ・ まずお客さまと目を合わせ、
笑顔のあいさつで感謝を伝える。
- ・ 明るさ、清潔感、快適さ、いつも売場でおもてなし。
- ・ ご意見・苦情はお店の財産、
その場で受け止めるのは一人ひとりの役目。

「食卓」を通して心の豊かさを満たせるチームをつくるために

- ・ 食卓に四季折々の出会い・ふれあい・発見を届ける。
- ・ 食卓が想像できる売場づくりから
食卓の満ち足りた笑顔まで、それが販売。
- ・ 食卓の気づきを売場へ。教えつつ学び、学びつつ教える。

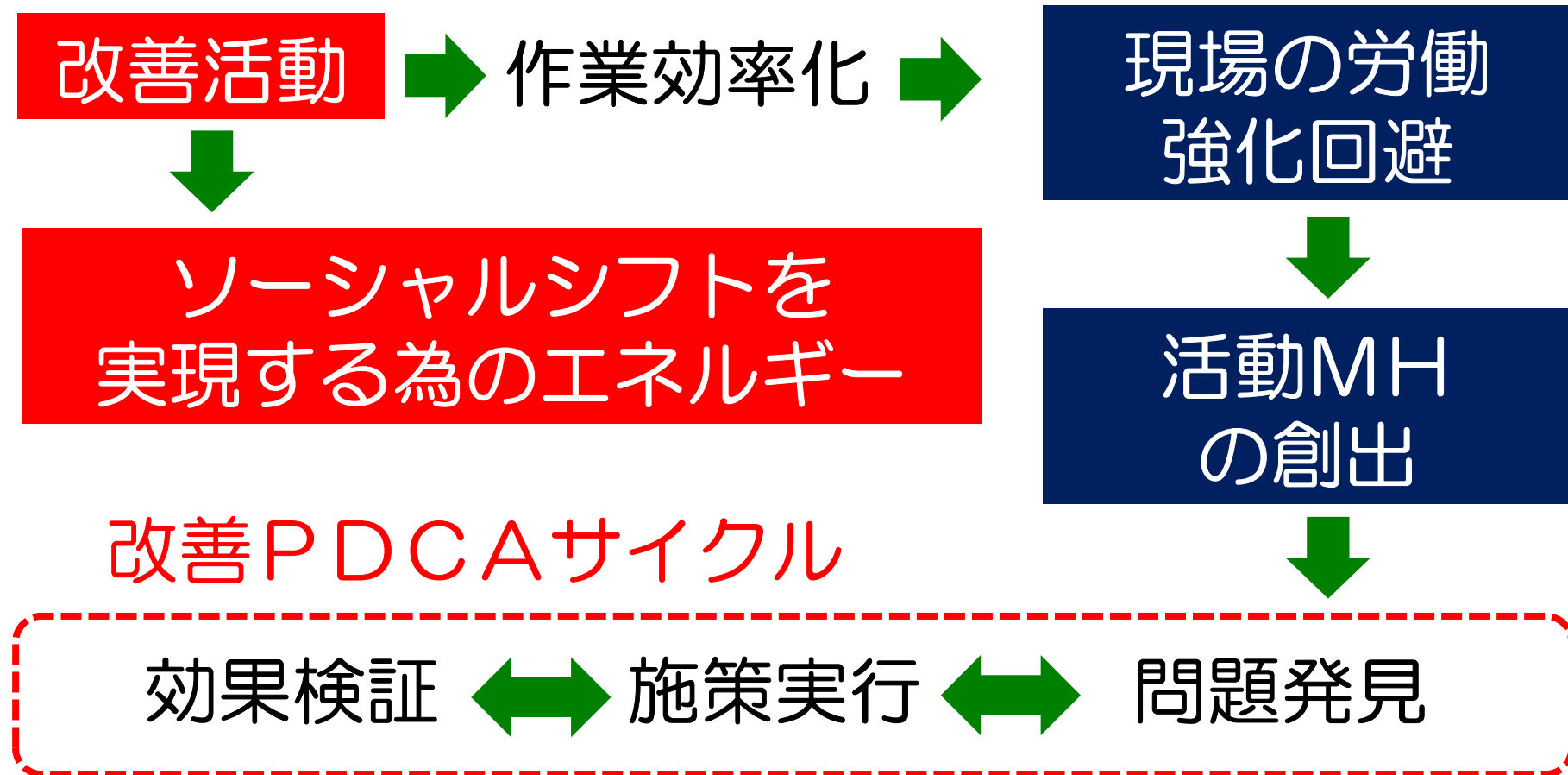
「地域」の発展とともに歩んでいくチームをつくるために

- ・ 一人ひとりが地域のお客さまの困り事に
耳を傾け解決する。
- ・ 地域の環境、風習、食文化へのお役立ちを考え発想する。
- ・ 地域の方々に、憩い、集い、出会いの機会を提供する。

改善推進キーワード



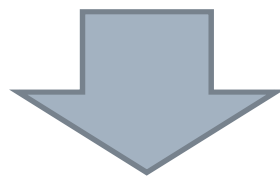
ソーシャルシフトの中での改善活動の役割



全体最適への挑戦

改善活動で学んだ事・・・

**部分最適の改善には
必ず限界が訪れ、全体最適のための
関連部署との連携が必要になる！！**



**改改改改改改改
現場を主役にした
ソーシャルシフトの実現**



改善活動で学んだ事・・・

連携を進める為には、**相手以上に相手を想う事が重要であり、そのコミュニケーションが信頼関係を推進し、次の連携に繋がる事を知った。**

信頼関係を通して、**意見の言い合えるチームになった。**
“言ったら気まずい”から“言い合うことが当たり前”に～

現場の自分たちが“**こうしたらいい**”と思った『**気づき**』を改善すると、結果として、自分たちの仕事が楽になる、一緒に働く仲間に感謝される。



改善活動で学んだ事・・・

カスミ価値観

カスミは
「よろこびを分かちあえる食卓づくり」を使命とします。

1. 「誇り」に思えるチームをつくるために

- ・相手以上に相手を思い、目標に向かって協力しあう。
- ・まず受け入れる、そして互いの考えを伝え合う。
- ・お客さまから「ありがとう」と言われる仕事、家族に胸を張れる働き。

2. 「ホスピタリティ」あふれるチームをつくるために

- ・まずお客さまと目を合わせ、えがおのあいさつで感謝を伝える。
- ・明るさ、清潔感、快適さ、いつも現場でおもてなし。
- ・ご意見・苦情は我々の財産、その場で受け止めるのは一人ひとりの役目。

※お客様とは・・・お取引先様、店舗、自部署の前後工程部署

3. 「商品をお届けすること」を通して、心の豊かさを満たせるチームをつくるために

- ・誤配送、誤仕分けを削減(物流品質向上)し、店舗に対する納品品質を上げる。

4. 「地域」の発展とともに歩んでいくチームをつくるために

- ・一人ひとりがお取引先様、店舗、自部署の前後工程部署の困りごとに耳を傾け解決する。

CDCの
一員としての
働き方

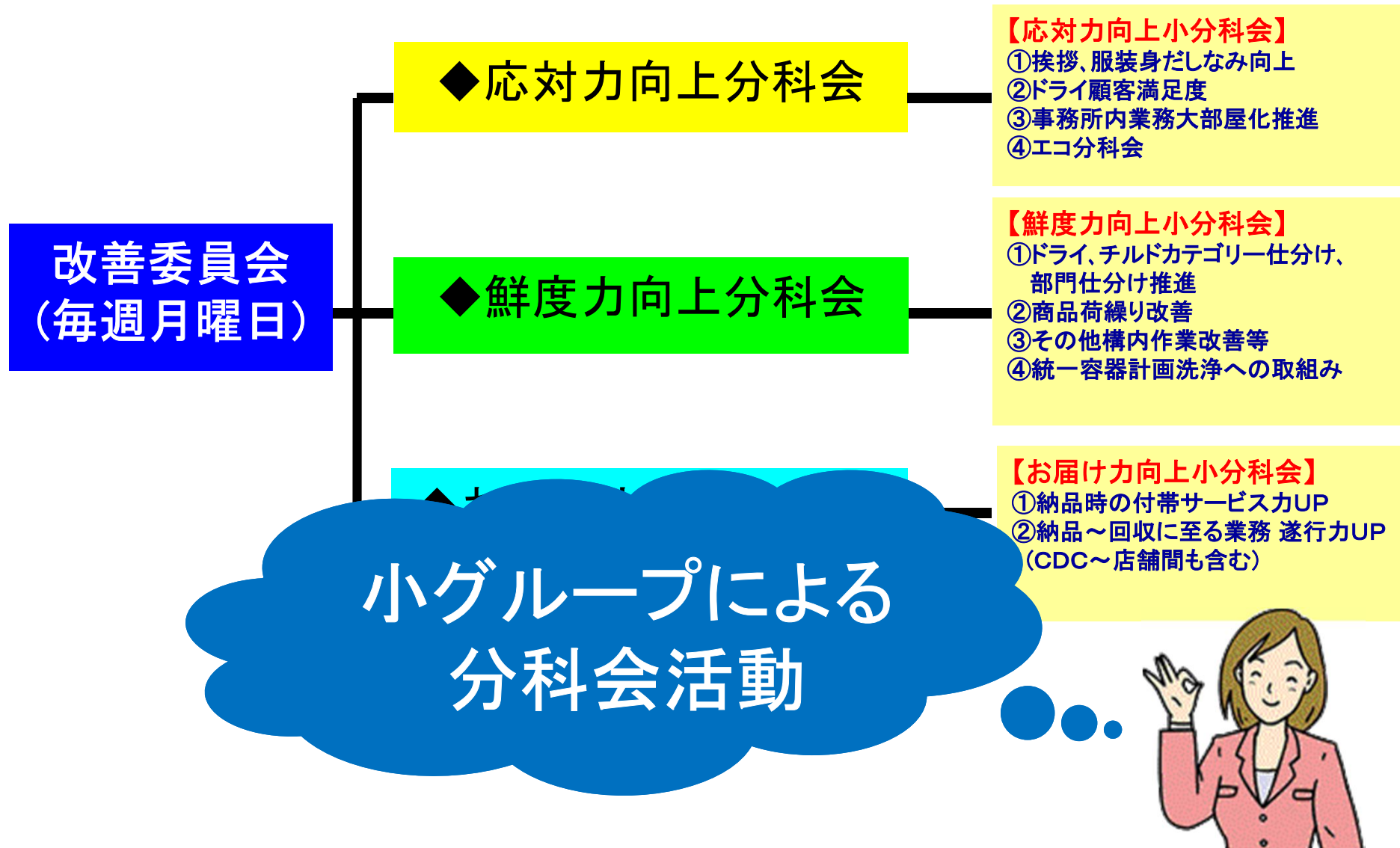
物流品質

CDCと接する
全ての方との
関わり方

物流品質だけでは改善は進まない。根底にある心が改善と人をつなげる。



2015年度物流改善推進体制



物流部スローガン

for the stores ー私達は、台車1台1台に真心を込めてお届け致します！ー

店舗満足度
(物流品質)

=

店舗への
応対力

×

納品台車1台
1台の鮮度力

×

ドライバーの
お届け力

- ・電話(3鈴鳴らず、受け答え方等)
- ・質問、要望等に対する解答の早さ

- ・商品品質維持
- ・カテゴリー仕分け
- ・破損、潰れなし
- ・仕分けミスなし

- ・接客、商品納品、回収時の付帯サービス力
- ・納品～回収に至る業務遂行力、商品・作業知識

◆ 物流品質改革元年 ◆

6つの物流品質を徹底的に追求して
店舗に感動と満足を与えよう！

・
・
・



物流部スローガン

for the stores ー 私達は、台車1台1台に真心を込めてお届け致します！ ー

2012年度

◆ お客様の目線で！ ◆

1. 物流品質向上改善継続(現地・現物・現実)
2. 最後の1点まで気を抜かない仕事の実践
(後工程(お客様)に最良の状態をお届けする)

2013年度

◆ 自主自立！ ◆

1. 物流品質向上改善継続(現地・現物・現実)
2. 環境変化に対応し、自ら変わる。

2014年度

仕事への取り組み方
を共有化

・現物・現実)



www.kasumi.co.jp



【物流品質】

物流の価値観①

1. 納期品質

店舗へ約束した店着時間をどの位正確に遵守出来るか。遅延欠品が無い。

2. 商品品質維持品質

配送する商品の機能品質を損なわず、店舗に届けられる水準。破損、劣化が無い。

3. 正確性品質

仕分ミスや配送ミスが無い。部門別、カテゴリー別仕分けがされて、混載は2部門まで。

4. 事故防止品質

交通事故やセンター内で発生する事故等が無い。安全管理の水準。

5. 環境品質

排出物の削減水準。人に優しい運転等。

6. 印象品質

ドライバーの良し悪しによる印象の良し悪し。

行行につなげられる
管管指標の共有化



物流の価値観②

1. 「誇り」に思えるチームをつくるために

- ・相手以上に相手を思い、目標に向かって協
- ・まず受け入れる、そして互いの考えを伝え合う。
- ・お客さまから「ありがとう」と言われる仕事、家族に胸を張れる働き。

2. 「ホスピタリティ」あふれるチームをつくるために

- ・まずお客さまと目を合わせ、えがおのあいさつで感謝を伝える。
- ・明るさ、清潔感、快適さ、いつも現場でおもてなし。
- ・ご意見・苦情は我々の財産、その場で受け止めるのは一人ひと

※お客様とは、お取引先、店舗、の前後工程部

改善チームの
一員としての
働き方

3. 「

WINを循環する為の
行動指標の共有化

をつくるために

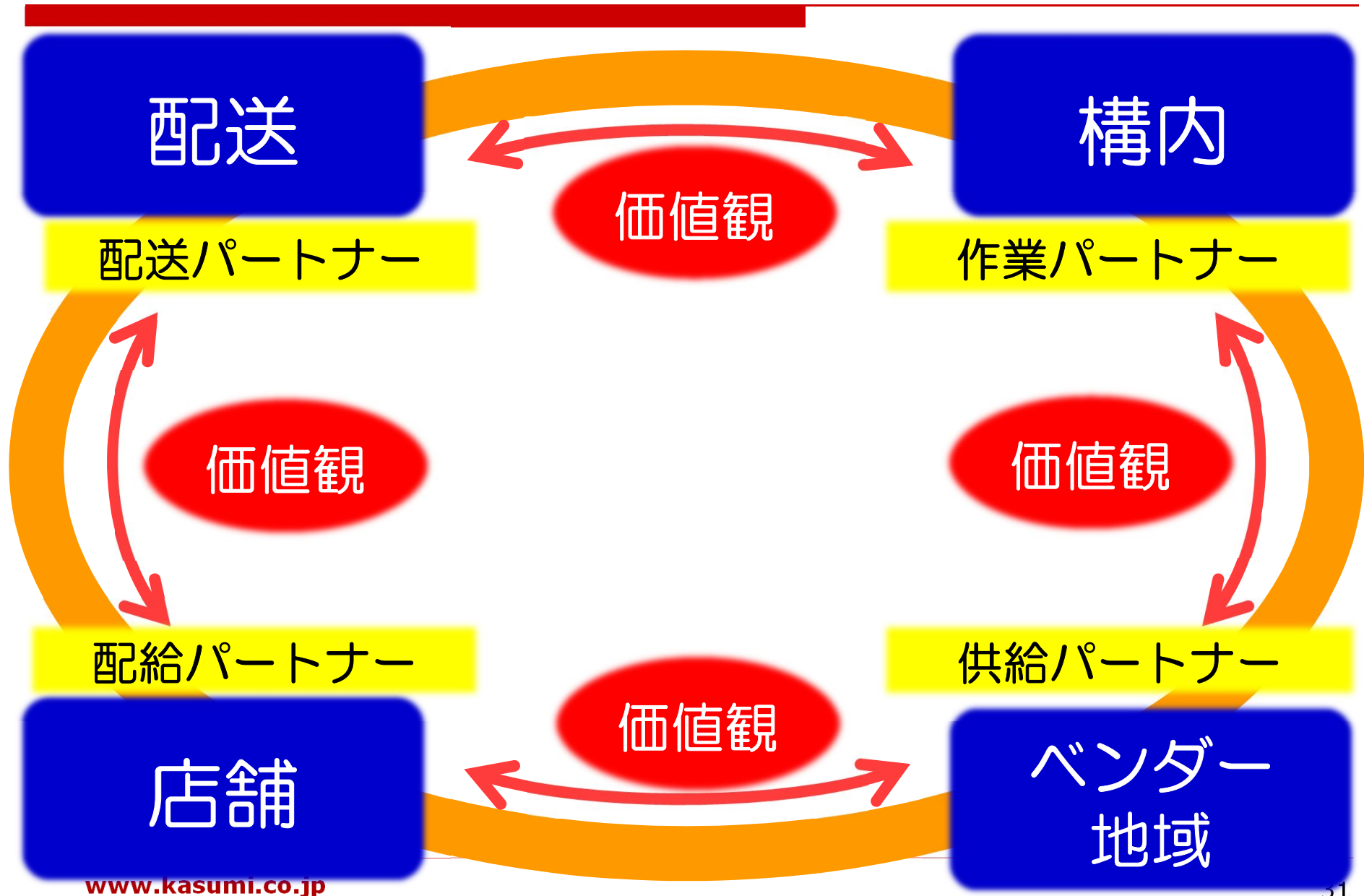
納品品質を上げる

物流品質

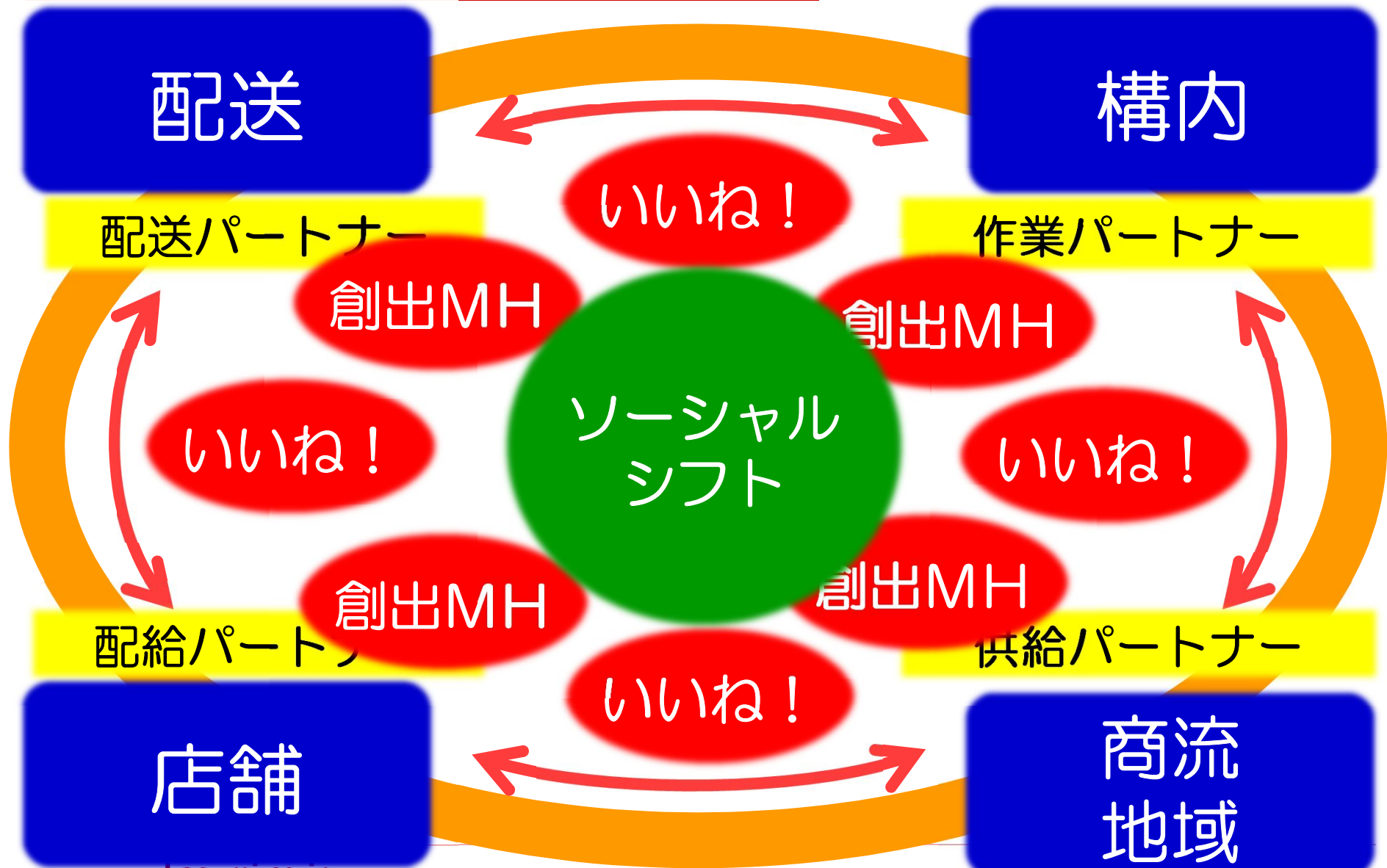
の困りごとに耳を傾ける



◇ 場の役割は改善エンジン！！ ◇



◇ 創出MH&モチベーションが燃料！！ ◇



◇ 前後工程との連携 ◇



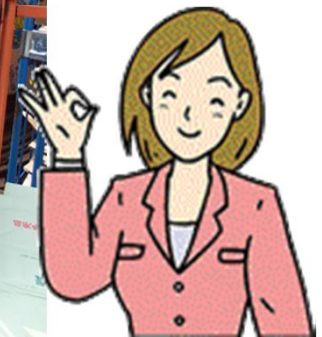
◇ WINの循環 ◇



ドライバーの声から 『配送ドライバーの負担削減に、前後工程が動き出した』

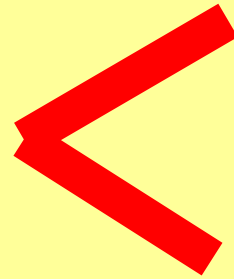


WINの循環の
考え方



回収物の整理時間が50%削減！！

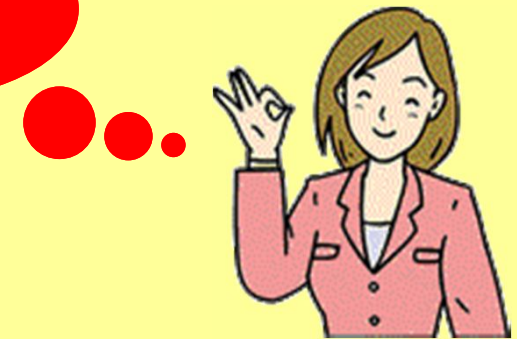
利権・金
損・得



思いやり・感謝
誇り・やりがい

改善推進の為のWINの正体

WINの循環の
考え方



利権・金

損・得

思いやり・感謝

利権・金
損・得

改善

改善活動とは
人の価値を追求する
ソーシャルアクション！！

人

物

金



共感が連携を生む
それが人の最大のメリット

ありがとうございました！！

presents by 

地方協議会の開催について

		開催日
北海道	北海道	7月24日
東北	青森	7月29日
	岩手	7月30日
	宮城	7月31日
	秋田	7月30日
	山形	7月27日
	福島	7月27日
関東	茨城	7月24日
	栃木	7月30日
	群馬	7月31日
	埼玉	7月22日
	千葉	7月27日
	東京	7月13日
	神奈川	7月27日
	山梨	7月28日
北陸 信越	新潟	7月13日
	長野	7月30日
	富山	7月27日
	石川	8月 7日
中部	愛知	7月23日
	静岡	8月 7日
	岐阜	8月 3日
	三重	8月 3日
	福井	7月30日

		開催日
近畿	大阪	7月23日
	京都	8月 4日
	兵庫	8月 3日
	滋賀	7月27日
	奈良	7月28日
	和歌山	8月 7日
中国	広島	7月23日
	鳥取	7月27日
	島根	8月 3日
	岡山	8月 6日
	山口	7月29日
四国	徳島	7月29日
	香川	7月30日
	愛媛	8月 6日
	高知	7月31日
九州	福岡	8月 4日
	佐賀	8月11日
	長崎	8月10日
	熊本	8月 6日
	大分	7月23日
	宮崎	8月 6日
	鹿児島	8月 5日
沖縄	沖縄	7月31日

※各都道府県の第1回協議会は平成27年8月11日までに開催済み。

地方協議会委員一覧表

参考資料2

平成27年8月20現在

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
北海道	北海道	千葉 博正	千葉 博正 (札幌大学経営学部教授)	仲屋一也 (ホクレン農業協同組合連合会管理本部物流部長) 山口 重幸 (北海道漁業協同組合連合会営業企画部長) 石岡 忠雄 (マックスバリュ北海道(株)取締役経営管理本部長) 関口 厚志 (王子製紙(株)苫小牧工場事務部長)	工藤 修二 (株)トッキュウ代表取締役) 渡邊 英俊 (北海道フーズ輸送(株)代表取締役) 野村 佳史 (株)丸日日諸産業代表取締役)	菊嶋 明廣 (一般社団法人北海道商工会議所連合会常務理事) 神 秀治 (北海道経済連合会常務理事) 福迫 均 (北海道中小企業団体中央会専務理事)	伊藤 昭人 (公益社団法人北海道トラック協会会長) 渡辺 直志 (日本労働組合総連合会北海道連合会副委員長)	紺野 則仁 (全日本運輸産業労働組合連合会北海道地方連合会執行委員長) 北海道労働局長 北海道労働局労働基準部長 北海道運輸局長 北海道運輸局自動車交通部長 北海道経済産業局産業部長	
東北	青森	井上 隆	井上 隆 (青森大学経営学部教授)	田代 直也 (三菱製紙(株)八戸工場工場長) 野村 義矢 (キヤノンプレシジョン(株)体表取締役)	及川 和彦 (日通青森支店支店長) 荒谷 彰男 (三八五流通(株)顧問) 中村 健 (中長運送(株)代表取締役社長)	沼田 廣 (一社)青森県経営者協会会長) 太田 修 (全国農業協同組合連合会青森県本部県本部長)	木村 英敬 (一社)青森県トラック協会会長) 山内 裕幸 (全日本運輸産業労働組合青森県連合会)	青森労働局長 東北運輸局長 青森運輸支局長	
東北	岩手	元田 良孝	元田 良孝 (岩手県立大学総合政策学部教授)	照井 勝也 (全国農業協同組合連合会岩手県本部副本部長) 山本 篤 (トヨタ自動車東日本(株)岩手工場工務部主査) 小澤 和之 (株)十文字チキンカンパニー常務執行役員)	小野寺 正太郎 (ハツ星運輸(株)代表取締役) 中平 賢正 (十久運送(有)代表取締役) 佐久間 啓文 (日本通運(株)盛岡支店支店長)	猿川 毅 (岩手県商工会議所連合会事務局長) 高橋 嘉信 (岩手県トラック協会会長)	柴谷 正孝 (全日本運輸産業労働組合岩手県連合会執行委員長)	岩手労働局長 東北運輸局長 岩手運輸支局長	

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
東北	宮城	徳永 幸之	徳永 幸之 (宮城大学教授 事業構想学部 長)	清野 寿生 (アイリスオー ヤマ(株)本部 工場長兼角田 工場長) 高久 亨一 (生活協同組合 連合会コープ東 北サンネット事 業組合物流本 部長補佐) 都築 祐一 (全国農業協同 組合連合会宮 城県本部管理 部長) 川上 正智 (日本製紙(株) 石巻工場工場 長代理兼事務 部長)	千葉 孝男 (古川貨物(株) 代表取締役) 秋田 進 (日本通運(株) 執行役員仙台 支店長) 庄子 清一 (株)庄子運送 代表取締役)	菅原 秀徳 (一社)東北経 済連合会地域 政策部長) 相田 雅博 (仙台商工会議 所中小企業支 援部次長) 高山 健司 (一社)宮城県 経営者協会事 務局長)	須藤 弘三 (宮城県トラック 協会会長)	佐々木 弘明 (全日本運輸産 業労働組合宮 城連合会執行 委員長) 石井 浩二 (全国交通運輸 労働組合総連 合宮城県支部 委員長)	宮城労働局長 東北運輸局長 宮城運輸支局 長
東北	秋田	森 和彦 (秋田大学教育 文化学部教授)	小野 秀昭 (流通経済大学 物流科学研 究所教授)	杉山 昌史 (全国農業協同 組合連合会秋 田県本部本 部長) 吉田 彰彦 (日本製紙(株) 秋田工場工場 長) 田口 正見 (秋田プライウ ッド(株)取締役 生産本部長)	近藤 哲泰 (六郷小型貨物 自動車運送 (株)代表取締 役) 赤上 信弥 (株)秋田市場 運送代表取締 役) 末次 龍一 (ヤマト運輸 (株)秋田主管 支店長)	藤原 清悦 (一社)秋田県 経営者協会会 長)	嶋田 康子 (秋田県トラック 協会会長)	澤田 宏 (全日本運輸産 業労働組合秋 田県連合会執 行委員長)	秋田労働局長 東北運輸局長 秋田運輸支局 長
東北	山形	高木 郁郎	高木 郁郎 (日本女子大学 名誉教授)	鈴木 英和 (全国農業協同 組合連合会山 形県本部本 部長) 鈴木 隆一 (株)でん六代 表取締役)	横尾 新一 (第一貨物(株) 山形支社長) 秋野 明 (酒田海陸運送 (株)代表取締 役)	丹 哲人 (一社)山形県 経営者協会専 務理事)	矢野 佳伸 (山形県トラック 協会会長)	鈴木 純一 (全国交通運輸 労働組合総連 合山形県支部 委員長) 大場 暁 (全日本運輸産 業労働組合山 形県連合会執 行委員長)	山形労働局長 山形労働局労 働基準部長 東北運輸局長 山形運輸支局 長
東北	福島	今野 順夫	今野 順夫 (福島大学名誉 教授)	平栗 嗣久 (株)ヨークベニ マル物流事業 部長 青木 文造 アサヒビール (株)福島工場 総務部長 渡辺 経佳 日東紡績(株) 福島工場副工 場長兼総務部 長	右近 八郎 (マクサム通運 (株)代表取締 役) 西條 久義 (日本通運(株) 郡山支店支店 長) 鎌田 武雄 (昭和運輸(株) 代表取締役) 加治 雄司 (磐城通運(株) 常務取締役)	石井 浩 (福島県商工会 議所連合会常 任幹事) 続橋 英一 (全国農業協同 組合連合会福 島県本部副本 部長)	渡邊 泰夫 (福島県トラック 協会会長)	田母神 正広 (全日本運輸産 業労働組合福 島県連合会執 行委員長)	福島労働局長 東北運輸局長 福島運輸支局 長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
関東	茨城	茨城運輸支局長		小川 喜賢 (株)ケースホールディングス執行役員営業本部物流部長) 市毛 由之 (株)カスミロジスティクス本部物流部マネージャー) 石田 幸宏 (株)日立パワーソリューションズ資材調達本部ロジスティクスセンター長兼国際調達センター部長代理)	宮内 博夫 (ミヤウチ物流システム(株)代表取締役) 糸賀 祥治 (株)糸賀商運代表取締役) 小倉 邦義 (茨城流通サービス(株)代表取締役社長) 塙 正明 (ハナワ物流(株)代表取締役)	沢畑 慎志 (一社)茨城県経営者協会専務理事) 中里 修三 (茨城県商工会議所連合会専務理事) 畑岡 宏茂 (茨城県商工会連合会専務理事) 岩間 伸博 (茨城県中小企業団体中央会専務理事)	小林 幹愛 (一社)茨城県トラック協会会長 松本 三智夫 (全日本運輸産業労働組合茨城県連合会執行委員長)	日下部 好美 (日本労働組合総連合会茨城県連合会事務局長) 松本 三智夫 (全日本運輸産業労働組合茨城県連合会執行委員長)	茨城労働局長 関東運輸局長 茨城運輸支局長
関東	栃木	栃木運輸支局長		三吉 政美 (日産自動車(株) 栃木工場工務部 生産課部長) 菊入 信幸 (アキレス(株) 栃木工場 足利総務部 部長)	吉高神 健司 (有)野中運送店代表取締役) 石塚 安民 (株)北関東運輸代表取締役) 増田 邦雄 (増田運送(株)代表取締役)	黒川 辰美 (一社)栃木県商工会議所連合会常務理事) 石塚 洋史 (一社)栃木県経営者協会専務理事)	笠原 秀人 (栃木県トラック協会会長)	田中 克明 (栃木県交通運輸産業労働組合協議会副議長)	栃木労働局長 関東運輸局長 栃木運輸支局長
関東	群馬	群馬運輸支局長		渡邊 浩 (富士重工(株)スバル製造本部群馬製作所製造管理部長) 狩野 裕 (サンデン・ビジネスエキスパート(株)物流部長)	三浦 文雄 (三富運送(株)代表取締役) 堀越 誠一郎 (堀越運輸(株)代表取締役) 武井 宏 (ボルテックスセイグン(株)代表取締役) 川島 満男 (株)三蔵代表取締役) 原 邦昭 (株)グローバル代表取締役) 佐藤 今朝司 (株)群馬グリーン配送代表取締役)	大矢 一 (群馬県商工会議所連合会専務理事) 樋口 俊之 (群馬県経営者協会専務理事) 星野 榮助 (群馬県倉庫協会会長) 堀式 智 (群馬県地区通運協会会長)	三浦 文雄 (群ト協会会長) 堀越 誠一郎 (群ト協副会長) 武井 宏 (群ト協副会長) 川島 満男 (群ト協副会長) 原 邦昭 (群ト協副会長) 佐藤 今朝司 (群ト協副会長) 石井 雅博 (群ト協専務)	小宮 勝義 (群馬県交通運輸産業組合協議会議長) 金子 裕昭 (日本労働組合総連合会・群馬県連合会事務局長) 佐藤 今朝司 (群ト協副会長) 石井 雅博 (群ト協専務)	群馬労働局長 関東運輸局長 群馬運輸支局長 群馬県産業経済部商政課長 群馬労働局労働基準部健康安全課長
関東	埼玉	古井 恒 (流通経済大学流通情報学部教授)	古井 恒 (流通経済大学流通情報学部教授)	永田 勝 (レンゴー株式会社八潮工場社物流部長)	長窪 信也 (株式会社信和運輸代表取締役) 石川 繁 (石川産業株式会社代表取締役) 尾野 嘉昭 (カネオ興運株式会社代表取締役)	福島 亨 (一般社団法人埼玉県商工会議所連合会専務理事) 根岸 茂文 (一般社団法人埼玉県経営者協会専務理事) 川鍋 陽一 (埼玉県倉庫協会副会長)	鳥居 伸雄 (一般社団法人埼玉県トラック協会会長) 小宮 俊光 (一般社団法人埼玉県トラック協会副会長)	牧野 智一 (埼玉県交通運輸産業労働組合協議会議長)	埼玉労働局長 埼玉労働局労働基準部長 関東運輸局長 埼玉運輸支局長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
関東	千葉	千葉運輸支局長		斉藤 輝弘 (JFEスチール株式会社 東日本製鉄所 常務執行役員 千葉地区副所長) 井関 哲司 (住友化学(株) 千葉工場副工場長兼生産管理部長)	角田 正一 (角田運送(株) 代表取締役) 大里 忠弘 (銚子通運(株) 代表取締役) 中村 隆則 (南総通運(株) 代表取締役社長) 柳澤 隆善 (株)高陽運輸 代表取締役社長) 池田 和彦 (株)池田自動車運輸代表取締役) 植森 彰 (日本通運(株) 千葉支店長)	木原 稔 (一社)千葉県商工会議所連合会 専務理事) 花澤 和一 (一社)千葉県経営者協会 専務理事)	西郷 隆好 (一社)千葉県トラック協会 会長)	白土師 幸 (全日本運輸産業労働組合千葉県連合会書記長)	関東運輸局長 千葉運輸支局長 千葉労働局長 千葉県商工労働部長
関東	東京	東京運輸支局長		渡辺 徹 (三井食品(株)物流本部副本部長) 池田 和幸 (アスクル(株)ECR本部統括部長) 久野雅人 (ブリヂストン物流(株)取締役・物流事業統括)	浅井 隆 (株)浅井代表取締役) 天野 智義 (天野運送(株)代表取締役) 千原 武美 (西多摩運送(株)代表取締役)	朝香 博 (東京商工会議所地域振興部長) 石川 純彦 (東京経営者協会労働・研修部長) 石田 靖博 (東京都中小企業団体中央会労働課長) 竹口 誠三 (東京倉庫協会専務理事) 竹津 久雄 (東京地方通運連盟会長) 山内 信幸 (全国物流ネットワーク協会専務理事)	※トラック事業者3社＝東京都トラック協会副会長 高橋 啓也 (キリンググループ) 石川 純彦 (東京経営者協会労働・研修部長) 石田 靖博 (東京都中小企業団体中央会労働課長) 竹口 誠三 (東京倉庫協会専務理事) 竹津 久雄 (東京地方通運連盟会長) 山内 信幸 (全国物流ネットワーク協会専務理事)	米田 易憲 (東京都交通運輸産業労働組合協議会議長) 傳田雄二 (日本労働組合総連合会東京都連合会副事務局長)	東京労働局長 東京労働局労働基準部長 関東運輸局長 東京運輸支局長 関東経済産業局産業部次長 東京都産業労働局商工部長
関東	神奈川	神奈川運輸支局長		斉藤 康浩 (株)日新綜合営業第三部兼陸運部執行役員部長)※注) 荷主元請会社 刑部 佳英 (全農物流(株) 神奈川支店支店長)※注) 荷主元請会社 中尾 芳孝 (日産自動車(株)SCM本部部品物流エンジニアリング部エクスパートリーダー)	伊澤 進 (横浜低温流通(株)代表取締役) 高橋 浩治 (川崎運送(株) 取締役社長) 伊藤 保義 (内外液輸(株) 代表取締役)	塚原 良一 (一社)神奈川県商工会議所連合会専務理事) 石部 裕通 (一社)神奈川県経営者協会専務理事)	筒井 康之 (一社)神奈川県トラック協会 会長) 石橋 廣 (一社)神奈川県トラック協会 専務理事) 神志那学 (一社)神奈川県トラック協会 常務理事) 伊奈利夫 (一社)神奈川県トラック協会 常務理事)	鈴木 啓二 (全日本運輸産業労働組合神奈川県連合会執行委員長)	神奈川県産業労働局産業・観光部課長 厚生労働省神奈川労働局長 国土交通省関東運輸局長 神奈川運輸支局長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
関東	山梨	山梨運輸支局長		原 晃彦 ((株)シャトレーゼ 営業本部物流部長) 仲澤 富夫 ((株)キトー 製造本部ホイス製造部業務グループマネージャー補佐)	藤本 寛 (有)藤本運送代表取締役社長 塩津 和久 (中央運輸(有)代表取締役社長)	小林 明 (山梨県商工会議所連合会 事務局長) 知見寺 好幸 (山梨県中小企業団体中央会事務局長) 望月 玲仁 (山梨県倉庫協会 会長)	坂本政彦 ((一社)山梨県トラック協会 会長) 伏見 勉 (日本労働組合総連合会山梨連合会 副事務局長) 常葉 秀之 (全日本運輸産業労働組合山梨県連合会 書記長)	山梨県産業労働部商業振興金融課長 山梨労働局長 関東運輸局長 山梨運輸支局長	
北陸信越	新潟	長塚 康弘	長塚 康弘 (新潟大学名誉教授)	安藤 稔 (全国農業協同組合連合会新潟県本部管理部長) 板垣 和彦 (北越紀州(株)新潟工場事務部長) 金子 昌弘 (北星産業(株)取締役営業部長)	小林 和男 (中越運送(株)代表取締役社長・新潟県トラック協会副会長) 市村 輝男 (長岡トラック(株)代表取締役社長・新潟県トラック協会副会長)	遠藤 修司 ((一社)新潟県商工会議所連合会専務理事) 本間 哲夫 ((一社)新潟県経営者協会専務理事) 藤巻 勉 (新潟県中小企業団体中央会専務理事) 大谷 昇 ((特非)新潟県消費者協会事務局長)	浅間 博 ((公社)新潟県トラック協会専務理事) 小 熊 勇 (日本労働組合総連合会新潟県連合会副会長) 渡辺 章衛 (全日本運輸産業労働組合新潟県連合会執行委員長)	新潟労働局長 北陸信越運輸局長 経済産業省関東経済産業局産業部担当次長	
北陸信越	長野	小山 健	小山 健 (信州大学名誉教授)	古畑 一彦 (マルコム(株)物流管理部長) 佐藤 正彦 (全国農業協同組合連合会長野県本部総合企画部長)	佐藤 武司 (日本通運(株)長野支店長・長野県トラック協会副会長) 朝場 宏男 (東信運送(株)代表取締役・長野県トラック協会北信地区理事)	水本 正俊 ((一社)長野県経営者協会専務理事) 佐々木 正孝 (長野県中小企業団体中央会専務理事)	佐藤 武司 (長野県トラック協会副会長・前掲) 朝場 宏男 (長野県トラック協会北信地区理事・前掲)	町田 正樹 (全日本運輸産業労働組合長野県連合会書記長) 長野労働局長 北陸信越運輸局長	
北陸信越	富山	千々岩 力	千々岩 力 (高岡法科大学大学長)	林 清淳 ((株)不二越 営業管理部物流管理センター長) 西田 真一 (YKKAP(株)生産本部ロジスティクス推進部供給企画室長) 広瀬 政明 (三協立山(株)経営企画総括室統括室長付) 塚田 宏之 (中越パルプ工業株式会社経営管理本部管理調査役) 小杉 誠一 (テイカ製薬(株)取締役購買物流本部長)	小杉 鑑平 (魚津運輸(株)代表取締役会長・富山県トラック協会副会長) 勝山 功 (三和運輸(株)取締役相談役・富山県トラック協会副会長) 荒木 一義 (株)荒木運輸代表取締役社長) 相原 真美 (富山県消費者協会事務局長)	天坂 幸治 ((一社)富山県商工会議所連合会常任理事・事務局長) 佐藤 登 ((一社)富山県経営者協会専務理事) 増川 茂則 (富山県中小企業団体中央会専務理事) 梶原 真美 (富山県消費者協会事務局長)	稲土 英博 ((一社)富山県トラック協会専務理事) 土肥 克彦 (日本労働組合総連合会富山県連合会副会長・富山県交通運輸産業労働組合協議会議長)	富山労働局長 北陸信越運輸局長	

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
北陸信越	石川	近藤 修司	近藤 修司 (北陸先端科学技術大学院大学 客員教授)	中出 豊彦 (石川県農業協同組合中央会 総務教育部長) 酒井 健 (カナカン(株) 常務取締役) 竹鼻 達夫 (津田駒工業(株) 専務取締役)	田内 満喜夫 (株)田内運輸 取締役会長) 山田 秀一 (北陸貨物運輸(株) 代表取締役) 中野 廣志 (日本通運株式会社)金沢支店) 宮本 外紀 (一社)石川県商工会議所連合会専務理事) 橋本 政人 (一社)石川県経営者協会専務理事) 中村 明 (石川県中小企業団体中央会 専務理事)	谷本 義治 (一社)石川県トラック協会会長)	酒井 敏次 (石川県交通運輸産業労働組合協議会議長)	石川労働局長 北陸信越運輸局長	
中部	愛知	丹下 博文	丹下 博文 (愛知学院大学大学院経営学研究科 教授)	石崎 雅士 (トヨタ自動車物流管理部国内物流改善室主査)、 福山 衛 (福山冷蔵(株) 代表取締役社長)	高山 智司 (高山運輸(株) 代表取締役)、 神谷 昌彦(高浜共立運輸(株) 代表取締役)、 藤代 正行 (株)藤城運輸代表取締役社長	福村 隆宏 (中部経済連合会社会基盤部長)、 田中 豊 (愛知県商工会議所連合会(名古屋商工会議所)企画振興部長、 遠藤 直也 (日本ロジスティクスシステム協会中部支部部長)	若杉 福雄 (愛知県トラック協会副会長 丸五運送(株)代表取締役) 加藤 正光 (全日本運輸産業労働組合愛知県連合会執行委員長)、 谷藤 賢治 (全日本建設交通一般労働組合愛知県本部書記長)	中部経済産業局 産業部長 愛知労働局長 愛知運輸支局長 中部運輸局長	
中部	静岡	丹下 博文	丹下 博文 (愛知学院大学大学院経営学研究科 教授)	杉山 克幸 (鈴木(株)取締役) 渡辺 秀身 (ジャトコ(株)SCM推進部長)	鈴木 正二 (東静岡送(株) 代表取締役) 杉山 節雄 (静岡運輸(株) 代表取締役)	杉 雅俊 (一般社団法人静岡県商工会議所連合会専務理事) 木村 道則 (静岡県中小企業団体中央会 専務理事)	加藤 浩幸 (静岡県トラック協会副会長 ウェルポート(株)代表取締役) 鈴木 英男 (全日本運輸産業労働組合静岡県連合会書記長) 遠藤 伸 (全日本建設交通一般労働組合静岡県本部書記次長)	静岡労働局 静岡運輸支局 中部運輸局長	
中部	岐阜	土井 義夫	土井 義夫 (朝日大学 准教授)	小池 孝幸 (株)パロー物流部長) 松原 芳久 (イビデン(株)総務部長) 大羽 浩司 (KYB(株)生産企画部課長) 後藤 成人 (KYB(株) 生産管理部課長)	田口 利壽 (東海西濃運輸株式会社代表取締役社長) 遠藤 亮 (越美通運株式会社代表取締役社長) 清水 豊太郎 (清水産業有限公司代表取締役社長) 山田 英治 (岐阜県商工会議所連合会専務理事) 安藤 正弘 (一般社団法人岐阜県経営者協会専務理事) 長縄 隆 (一般社団法人岐阜県経済同友会専務理事)	山口 嘉彦 (岐阜県トラック協会副会長 (株)エスラインギフ代表取締役社長) 日本労働組合総連合会岐阜県連合会 全日本運輸産業労働組合岐阜県連合会	岐阜労働局 岐阜運輸支局 中部運輸局長		
中部	三重	山本 雄吾	山本 雄吾 (名城大学経済学部 教授)	太田 靖也 (日本トランスシティ(株)運輸事業部 業務部長) 村松 幹夫 (株式会社 LIXIL物流 近畿物流センター センター長)	川北 辰実 (株)カワキタ エクスプレス代表取締役) 辻 定 (辻運送(株)専務取締役) 村木 尚哉 (新成運輸(株) 代表取締役社長)	藤本 和弘 (三重県商工会議所連合会事務局長) 別所 浩己 (三重県中小企業団体中央会 事務局長)	西野 衛 (三重県トラック協会会長 (株)西野代表取締役社長)	浮田 光久 (全日本運輸産業労働組合三重県連合会書記長)	三重労働局長 三重運輸支局 中部運輸局長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
中部	福井	川上 洋司	川上 洋司 (福井大学院工学研究科教授)	片岡 久秀 (フクビ化学工業(株)営業本部商品物流管理部長) 勝木 知文 (セーレン(株)取締役執行役員グローバル総務経理人事本部長)	有馬 茂人 (敦賀海陸運輸(株)取締役副社長) 水野 茂 (ミツノリ代表取締役)	鏑淵 信一 (一般社団法人福井県商工会議所連合会専務理事) 坪田 隆義 (福井県経済農業協同組合連合会常務理事)	清水 則明 (福井県トラック協会会長 福井貨物(株)代表取締役社長)	藤澤 幹雄 (福井県交通運輸産業労働組合協議会議長)	福井労働局長 福井運輸支局長 中部運輸局長
近畿	大阪	安部 誠治	安部 誠治 (関西大学社会安全学部教授)	武田 重治 (ダイキン工業株式会社物流本部業務部長) 榎本 陽一 (住友電気工業株式会社物流管理部部長) 松島 一成 (パナソニック株式会社企画部部長) 中 敦彦 (サントリービジネスエキスパート株式会社物流部部長)	富田 博行 (日本通運株式会社大阪支店)	神田 彰 (公益社団法人関西経済連合会) 堤 成光 (大阪商工会議所) 小池 米男 (一般社団法人大阪卸商連合会) 内田 嘉信 (日本チェーンストア協会関西支部) 須山 泰木 (公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会) 辻村 秀利 (大阪倉庫協会)	坂本 克己 (一般社団法人大阪府トラック協会 会長) 中川 才助 (一般社団法人大阪府トラック協会 副会長) 川端 英治 (一般社団法人大阪府トラック協会 副会長)	山口 善弘 (全日本運輸産業労働組合大阪府連合会)	大阪労働局長 近畿経済産業局産業部長 近畿運輸局長 近畿運輸局大阪運輸支局長
近畿	京都	久本 憲夫 (京都大学大学院教授)	久本 憲夫 (京都大学大学院教授)	清水 伸二 (第一工業製薬(株)人事総務部長) 森山 龍士 (宝酒造(株)SCM部長) 登坂 雄士 (山崎製パン(株)京都工場セールス課長)	西畑 義昭 (アースカーゴ代表取締役)	才寺 篤司 (京都商工会議所 産業振興部長) 川村 雅己 (京都経営者協会 渉外部担当部長) 大里 茂美 (京都府中小企業団体中央会 専務理事) 湯浅 康平 (京都倉庫協会 会長)	金井 清治 (一般社団法人京都府トラック協会 会長)	鶴山 裕次 (全日本運輸産業労働組合連合会京都府連合会 執行委員長)	京都労働局長 近畿経済産業局産業部長 近畿運輸局長 近畿運輸局京都運輸支局長
近畿	兵庫	小谷 通泰 (神戸大学大学院教授)	小谷 通泰 (神戸大学大学院教授)	井上秀昭 (川崎重工業株式会社 モーターサイクル&エンジンカンパニーサプライチェーン本部SC管理部長) 山田勝重 (フジッコ株式会社取締役・人事総務部長)	福永 征秀 (信栄運輸株式会社 取締役会長) 北野 稯 (姫路合同貨物自動車株式会社 代表取締役) 坂尾 洋南 (富士運輸株式会社 代表取締役)	城内 喜博 (兵庫県経営者協会 特別参与) 安田 義秀 (神戸商工会議所 常務理事・事務局長) 深田 修司 (兵庫県中小企業団体中央会 専務理事) 笹倉 雅彦 (兵庫県倉庫協会 専務理事)	福永 征秀 (一般社団法人兵庫県トラック協会 会長) 北野 稯 (一般社団法人兵庫県トラック協会 副会長) 坂尾 洋南 (一般社団法人兵庫県トラック協会 常任理事)	河合 和俊 (全日本運輸産業労働組合兵庫県連合会 執行委員長)	兵庫労働局長 近畿運輸局長 兵庫陸運部長 近畿経済産業局 産業部長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
近畿	滋賀	浜崎 章洋	浜崎 章洋 (大阪産業大学 経営学部教授)	生駒 弘信 (株)アヤハディ オ 取締役 管 理本部 本部 長 安河内 章 (キリンビール (株)滋賀工場総 務広報担当部 長)	中嶋 克樹 (センコー(株)常 務理事・京滋主 管支店長)	坂口 康一 (一社)滋賀経 済産業協会会 長 大道 良夫 (滋賀県商工会 議所連合会会 長) 上西 保 (滋賀県商工会 連合会副会長) 安田 昌生 (滋賀県中小企 業団体中央会 副会長) 淺野 邦彦(滋 賀県倉庫協会 会長)	田中 亨 (滋賀県トラック 協会会長) 甲斐切 稔 (滋賀県トラック 協会副会長)	山田 清 (日本労働組合 総連合会滋賀 県連合会会長) 矢田 収宏 (全日本運輸産 業労働組合滋 賀連合会執行 委員長)	滋賀労働局長 近畿運輸局長 滋賀運輸支局 長
近畿	奈良	蓮花 一己	蓮花 一己 (帝塚山大学教 授)	吉村 昭秀 (小山株式会社 取締役総務・人 事・経理本部 長) 疋田 満 (奈良積水株式 会社 技術部 安全・環境グ ループ長)	古田 正拓 (日本通運株式 会社奈良支店 長)	峯川 郁郎 (奈良県商工会 議所連合会常 任幹事) 福田 将人 (奈良県商工会 連合会専務理 事) 神田佳和 (奈良 経済産 業協会専務理 事) 櫻井 良彰 (奈良県中小企 業団体中央会 専務理事) 福本 圭司 (奈良県倉庫協 会会長)	森本 万司 (奈良県トラック 協会会長) 中 秀夫 (奈良県トラック 協会副会長)	内藤 利彦 (全日本運輸産 業労働組合奈 良県連合会執 行委員長)	奈良労働局長 近畿経済産業 局産業部長 近畿運輸局長 奈良運輸支局 長
近畿	和歌山	辻本 勝久 (和歌山大学 教授)	辻本 勝久 (和歌山大学教 授)	松下 芳 (花王 株式会 社和歌山工場 長) 東山 和典 (株式会社オー クワ物流事業部 長)	石橋 日出夫 (株式会社 湊 組取締役) 赤松 孝昭 (和歌山名鉄運 輸株式会社代 表取締役) 阪本 享三 (株式会社酒本 運送代表取締 役)	永井 慶一 (和歌山県経営 者協会専務理 事) 岡本 賢司 (和歌山県商工 会議所連合会 常任幹事) 湯川 恭英 (和歌山県商工 会連合会事務 局長) 木下 淳 (和歌山県中小 企業団体中央 会専務理事) 栗生 建次 (一般社団法人 和歌山経済同 友会事務局長) 坂田 道治 (和歌山県倉庫 協会会長)	龍田 潤三 (公益社団法人 和歌山県トラッ ク協会会長)	裏野 勝也 (全日本運輸産 業労働組合和 歌山県連合会 執行委員長)	和歌山県企画 部地域振興局 長 和歌山県商工 観光労働部労 働政策参事 和歌山労働局 長 近畿経済産業 局産業部長 近畿運輸局長 和歌山運輸支 局長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
中国	広島	三井 正信 (広島大学大学院 社会科学 研究科 教授)	若井 具宣 (経営コンサル タント(広島県 立大学名誉教 授)) 三井 正信 (広島大学大学 院 社会科学研 究科 教授)	平垣内 康展 (マツダ(株)生 産管理・物流本 部長) 中村 修二 (全国農業協同 組合連合会広 島県本部JA担 当部長) 宮田 秀雄 (株)福屋物流 部長) 福島 淳仁 (株)サンエス 管理本部人事 部次長)	田中 和志 (日本通運(株) 広島支店長) 八田 弘明 (福山通運(株) 常務執行役員) 竹本 昭法 (芸北急送(株) 代表取締役社 長) 沖藤 克治 (沖藤運送(株) 代表取締役社 長)	中野 博之 (広島県経営者 協会専務理事) 谷村 武士 (広島県商工会 議所連合会幹 事長) 田中 一範 (広島県倉庫協 会会長)	山根 徹吾 (広島県トラック 協会専務理事)	三浦 英次 (広島県交通運 輸産業労働組 合協議会議長)	中国経済産業 局産業部長 広島労働局長 中国運輸局長 広島運輸支局 長
中国	鳥取	松見 吉晴 (鳥取大学副学 長)	松見 吉晴 (鳥取大学副学 長)	神谷 哲郎 (トミタ電機(株) 代表取締役社 長) 谷口 信幸 (株)明治製作 所取締役製造 部長) 戸田 勲 (鳥取中央農業 協同組合常務 理事)	竹内 洋一郎 (株)山陰運送 代表取締役社 長) 河野 俊一 (中部貨物(有) 代表取締役) 八幡 太郎 (株)八幡運輸 代表取締役会 長)	山内 啓介 (鳥取県商工会 議所連合会事 務局長) 清水 徹男 (鳥取県中小企 業団体中央会 専務理事)	川上 和人 (鳥取県トラック 協会会長) 前田 裕明 (鳥取県トラック 協会専務理事)	山崎 睦 (鳥取県交通運 輸産業労働組 合協議会事務 局長)	鳥取労働局長 鳥取労働局労 働基準部長 中国運輸局長 鳥取運輸支局 長
中国	島根	飯野 公央 (島根大学法文 学部准教授)	飯野 公央 (島根大学法文 学部准教授)	坂本 忍 (島根県農業協 同組合常務理 事) 江角 隆 (ホシザキ電気 (株)島根工場生 産管理部長)	大和 博見 (有)丸和運輸 代表取締役) 鷲尾 忠彦 (日本通運(株) 松江支店支店 長)	木村 和夫 (島根県商工会 議所連合会幹 事長) 中村 光男 (島根県中小企 業団体中央会 専務理事)	三島 進 (公益社団法人 島根県トラック 協会会長)	加田 章 (島根県交通運 輸産業労働組 合協議会議長)	島根労働局長 中国運輸局長 島根運輸支局 長
中国	岡山	有利 隆一 (岡山商科大学 経済学部)	有利 隆一 (岡山商科大学 経済学部)	近藤 敏雄 (三菱自動車工 業(株)水島製作 所生産管理部 長) 辻 健三郎 (キリングルー プロジスティク ス(株)岡山支店 支店長) 山下 良一 (フジ物流(株) 常務取締役)	中岡 海城雄 (鶴山運送(株) 代表取締役) 林田 昌吾 (井倉運輸(株) 代表取締役) 小郷 伸洋 (岡山県貨物運 送(株)専務取締 役) 大野 雅美 (岡山県中小企 業団体中央会 事務局長) 矢吹 正 (岡山県倉庫協 会専務理事)	窪津 誠 (岡山県商工会 議所連合会専 務理事) 小野 敏行 (岡山県経営者 協会専務理事) 大野 雅美 (岡山県中小企 業団体中央会 事務局長) 矢吹 正 (岡山県倉庫協 会専務理事)	田中 明夫 (一社)岡山県 トラック協会専 務理事)	生藤 茂徳 (岡山県交通運 輸産業労働組 合協議会議長)	岡山県産業労 働部企業誘致・ 投資推進課長 岡山労働局長 中国運輸局長 岡山運輸支局 長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
中国	山口	末永 久大 (弁護士)	末永 久大 (弁護士)	廻本 学 (全国農業協同組合連合会山口県本部営農推進部部長) 山本 彰 (積水ハウス(株)山口工場製造部物流グループ長)	伊達 明彦 (岩国通運(株)代表取締役) 喜多村 誠 (防府通運(株)代表取締役)	小田 孝夫 (山口県商工会議所連合会常務理事) 寺田 徹郎 (山口県中小企業団体中央会専務理事)	河崎 静生 (山口県トラック協会会長) 高橋 則彦 (山口県トラック協会専務理事)	吉田 昌裕 (山口県交通運輸産業労働組合協議会事務局長)	山口労働局長 山口労働局労働基準部長 中国運輸局長 山口運輸支局長
四国	徳島	松村 豊大	松村 豊大 (徳島文理大学総合政策学部教授)	富田 圭司 (株)キョーエイ人事部長) 川崎 浩資 (株)DNP四国総務部 部長)	門田 征士 (徳島通運(株)代表取締役) 酒井 一誠 (誠徳運輸(株)代表取締役)	石井 一 (徳島商工会議所専務理事)	郡 信彦 (一社)徳島県トラック協会専務理事)	平井 敏郎 (全日本運輸産業労働組合連合会徳島県協議会議長) 宮本 武司 (全日本交通運輸産業労働組合総連合会徳島県支部執行委員長)	徳島労働局長 四国運輸局長 徳島運輸支局長
四国	香川	矢野 栄徳	矢野 栄徳 (香川大学名誉教授)	梅原 康利 (テーブルマーク(株)物流部長) 田中 賢二 (大倉工業(株)業務グループ次長) 眞鍋 宣訓 (四国化成工業(株)建材事業物流購買部長)	宮田 智喜 (日本通運(株)四国支店部長) 田中 正治 (三豊運送(株)代表取締役) 塩田 学 (林田物流(株)代表取締役) 白井 聡 (琴平急配(株)代表取締役)	公受 弘充 (四国経済連合会常務理事) 山田 哲也 (香川県商工会議所連合会専務理事)	楠木 寿嗣 (一社)香川県トラック協会会長)	藤下 壽博 (全日本運輸産業労働組合連合会香川県協議会議長) 中村 英介 (日本労働組合総連合会香川県連合会(四国ヤマトホームコンビニエンス労働組合委員長))	香川労働局長 藤永 芳樹 四国運輸局長 瀬部 充一 香川運輸支局長 石垣 融二
四国	愛媛	東淵 則之	東淵 則之 (松山大学経営学部教授)	木戸 栄次 (住友化学(株)愛媛工場【業務部(物流)兼物流部統括チームリーダー】) 竹村 靖 (全国農業協同組合連合会愛媛県本部県副本部長) 添田 裕文 (ダイオーロジスティクス(株)取締役)	西川 武 (有)西川運送(代表取締役会長) 和田 祥孝 (宇和島自動車運送(株)(代表取締役社長) 黒川 由紀也 (株)あじふく 代表取締役社長) 矢野 正樹 (南流勢運輸(株)代表取締役社長)	塩崎 桂 (愛媛県商工会議所連合会事務局長)	一宮 貢三 (愛媛県トラック協会会長) 岡田 秀人 (愛媛県トラック協会専務理事)	小山 真一 (愛媛県交通運輸産業労働組合議長) 深井 寛 (愛媛県交通運輸産業労働組合会計監査)	愛媛労働局長 天野 敬 四国運輸局長 瀬部 充一 愛媛運輸支局長 一宮 軌善

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
四国	高知	横川 和博	横川 和博 (高知大学人文学部教授)	池上 隆 (旭食品(株)管理統括本部 法務部 部長) 吉岡 克洋 (東洋電化工業(株)調達部 調達課 課長)	竹下 勝之 (株)丸富運送 代表取締役社長) 森本 敬一 (丸栄運輸(株) 代表取締役社長)	中屋 邦彦 (高知商工会議 所事務局長) 川村 直哉 (高知県経営者 協会専務理事)	岸 圭介 (高知県トラック 協会会長)	谷山 砂男 (高知県交通運 輸産業労働組 合協議会幹事)	高知労働局長 伊津野 信之 高知労働局労働 基準部長 村井 秀吉 四国運輸局長 瀬部 充一 高知運輸支局 次長 齊藤 雅之
九州	福岡	小野 秀昭	小野 秀昭 (流通経済大学 物流科学研究 所教授)	安武 正文 (TOTO(株)物流 技術部長) 加藤 塔二 (新日鐵住金 (株)八幡製鐵所 工程物流部長) 江頭 幸子 (ブリヂストン物 流(株)西日本支 店事業管理課 長)	三村 彰一 (浦筑豊通運 (株)代表取締役 社長) 増田 康雄 (増田運送(有) 代表取締役社 長) 河野 清二 (東西産業運輸 (有)代表取締 役社長)	中村 仁彦 (福岡県商工会 議所連合会専 務理事) 村岡 潤一 (全国農業協同 組合連合会 福 岡県本部 県本 部長) 松岡 嘉彦 (福岡県経営者 協会専務理事) 野々上 幸治 (福岡県中小企 業団体中央会 事務局長)	眞鍋 博俊 (公社)福岡県ト ラック協会会長	西田 修三 (全日本運輸産 業労働組合連 合会 福岡県連 合会執行委員 長) 西村 芳樹 (日本労働組合 総連合会 福岡 県連合会事務 局長)	福岡労働局長 九州運輸局長 福岡運輸支局 長
九州	佐賀	荒牧 軍治	荒牧 軍治 (佐賀大学名誉 教授) 小野 秀昭 (流通経済大学 教授)	江口孝浩 (㈱戸上電機製 作所業務グル ープマネー ジャー) 松尾芳磨 (JA佐賀 常務 理事) 田中俊也 (㈱佐賀鉄工所 佐賀工場製造 第二課長) 入江敏修 (九州日立物流 サービス(株)鳥 栖営業所 業務 グループ長) 田代勝久 (久光製薬(株)鳥 栖工場総務課 長)	田中 康紀 (佐賀運輸(株)代 表取締役社長) 宮原 章彦 (㈱ミヤハラ物 流代表取締役) 鳥屋 正人 (㈱ロジコム代 表取締役) 鳥谷 竹人 (有田陸運(株)代 表取締役)	福岡 祐二 (佐賀県経営者 協会) 江島 秋人 (佐賀県中小企 業団体中央会 専務理事) 坂井 俊彦 (佐賀県商工会 議所連合会 総 務課長) 陣内 一博 (佐賀商工会連 合会 専務理 事)	馬渡 雅敏 (佐賀県トラック 協会会長)	相川 司 (日本労働組合 総連合会佐賀 県連合会会長) 青柳 直 (全日本運輸産 業労働組合連 合会佐賀県連 合会 執行委員 長) 森田 末嘉 (全国交通運輸 労働組合総連 合佐賀県支部 委員長)	佐賀労働局長 九州運輸局長 佐賀運輸支局 長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
九州	長崎	宮原 和明 (長崎総合科学 大学名誉教授)	宮原 和明 (長崎総合科学 大学名誉教授) 小野 秀明 (流通経済大学 物流科学研究所)	原田 庸一郎 (三菱重工業 (株)長崎造船 所所長代理) 内田 勇 (長崎県 農業 協同組合中央 会専務理事) 若松宏二 (長崎県漁業協 同組合連合会 参事) 福水商事(株) 五反田 光 (日本ハム(株) 諫早プラント工 場長) 川見 義昭 (株)エレナ総 務部長)	松本一秀 (日本通運(株) 長崎支店 支店 長) 篠原 秀雄 (ヤマト運輸 (株)長崎主管 支店 支店長) 鈴木 正直 (タカラ長運 (株) 代表取締 役) 井石 八千代 (株)井石 代 表取締役) 佐藤 正文 (長崎雲仙運輸 (有)代表取締 役) 馬場 邦彦 (幸運トラック (株)代表取締 役) 西辻 松好 (株)ミラージュ 代表取締役)	松永 安市 (長崎県商工会 議所連合会専 務理事) 水浦 力 (長崎県中小企 業団体中央会 専務理事) 山口 裕志 (全日本運輸産 業労働組合連 合会執行委員 長)	塚本 政治 (長崎県トラック 協会会長)	山口 裕志 (全日本運輸産 業労働組合連 合会長崎県連 合会 執行委員 長)	長崎労働局長 九州運輸局長 長崎運輸支局 次長 長崎県産業労 働部次長
九州	熊本	坂本 正 (熊本学園大学 教授)	坂本 正 (熊本学園大学 教授)	恒松 由紀夫 (熊本県経済農 業協同組合連 合会園芸部長) 山本 尚司 (株式会社鶴屋 百貨店管理部 長) 橘谷 眞二 (本田技研工業 株式会社 熊本 製作所生産業 務室長) 児玉 恒康 (日本通運株式 会社熊本支店 熊本支店長) 熊澤 宏 (ヤマト運輸株 式会社熊本主 管支店 熊本主管支店 長) 荒川 泰治 (九州産交運輸 株式会社 代表取締役社 長)	住永 金司 (熊本交通運輸 株式会社 代表取締役社 長) 武藤 正幸 (株式会社手野 運送店 代表取締役社 長) 上田 裕子 (株式会社 AZUMA 代表取締役) 下川 公一郎 (城東運輸倉庫 株式会社 代表取締役) 津笠高則 (津笠運送株式 会社 代表取締役)	谷崎 淳一 (熊本県商工会 議所連合会 専務理事) 竹熊 猛 (熊本県農業協 同組合中央会 常務理事) 古里政信 (熊本県中小企 業団体中央会 専務理事)	住永 豊武 (熊本県トラ ック協会会長)	矢野 良輔 (交通労連熊本 県支部 事務局長) 田北 尚勝 (運輸労連熊本 県連合会 執行委員長)	熊本労働局長 九州運輸局長 熊本運輸支局 長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
九州	大分	前田 明	前田 明 (放送大学大分 学習センター所 長)	関野 孝志 (新日鐵住金 (株)大分製鉄所 工程業務部長) 山本 博之(大 分キャンノン(株))	鶴崎 洋明 (日本通運(株) 大分支店長) 柿沼 貴良 (ヤマト運輸(株) 大分主管支店 長) 富永 繁 (センコー(株)北 九州支店長) 梅木 真次 (九重運輸(有) 代表取締役) 三浦 政人 (株)鶴見運送 代表取締役) 山下 柁規 (安心院運輸 (株)代表取締 役) 十時 康裕 (株)NBSロジ ソル会長) 三重野 正治 (有)トランス ポートサービ ス・ミエノ)	川野 繁志 (大分県商工会 議所連合会常 務理事) 山田 英治 (大分県商工連 合会専務理事) 河野 深 (大分県中小企 業団体中央会 専務理事) 高橋 佐太郎 (全国農業協同 組合連合会大 分県本部副本 部長) 力 徳昌志 (大分県農業協 同組合専務理 事) 足立 紀彦 (大分県木材協 同組合連合会 専務理事) 日隈 邦夫(大 分県漁業協同 組合専務理事)	青木 建 (公社)大分県 トラック協会 会長)	橋本 敏雄 (全日本運輸産 業労働組合連 合会大分県連 合会 執行委員 長)	大分労働局長 九州運輸局長
九州	宮崎	白石 敬晶	白石 敬晶 (宮崎産業経営 大学) 小野 秀昭 (流通経済大学 物流科学研究 所教授)	川野 隆典 (宮崎県経済農 業協同組合連 合会常務理事) 石川 修二 (日本ホワイト ファーム(株)管 理部次長)	本田 豊明 (有)本田運送 代表取締役) 高石 淳一 (日豊輸送株) 代表取締役) 伊藤 圭一 (有)宮崎配送 センター専務取 締役)	倉掛 正志 (宮崎県商工会 議所連合会専 務理事) 田原 新一 (宮崎県商工会 連合会専務理 事) 黒木 裕孝 (一般社団法人 宮崎県工業会 専務理事)	牧田 信良 (一社)宮崎県 トラック協会 会長)	国部 健一郎 (運輸労連宮崎 県連合会 委員 長)	宮崎労働局長 九州運輸局長 宮崎運輸支局 長 宮崎県商工労 働観光部長
九州	鹿児島	小野 秀昭	小野 秀昭 (流通経済大学 物流科学研究 所教授)	鬼丸 幸司 (鹿児島県経済 農業協同組合 連合会常務理 事) 大山 康成 (鹿児島青果 (株)代表取締 役社長) 本坊 和人 (本坊酒造(株) 代表取締役社 長) 要塚 由隆 (中越パルプ工 業(株)川内工 場執行役員工 場長) 大峰 光一 (ヤマエ久野 (株)鹿児島支 店執行役員支 店長)	三苫 和彦 (日本通運(株) 鹿児島支店支 店長) 藤迫 利郎 (中越物産(株) 代表取締役社 長) 鳥部 敏雄 (セイコー運輸 (株)代表取締 役) 芳田 明 (株)ユタカ産 業代表取締役)	永田 福一 (鹿児島県中小 企業団体中央 会事務局長)	黒木 一正 (公社)鹿児島 県トラック協 会会長)	池田 耕造 (全日本運輸産 業労働組合連 合会鹿児島県 連合会執行委 員長)	鹿児島労働局 長 九州運輸局長 鹿児島運輸支 局次長

運輸局	都道府県	座長	学識経験者	荷主企業	トラック事業者	経済・荷主団体	トラック運送事業者団体	組合団体	行政庁
沖縄	沖縄	小野 秀昭	小野 秀昭 (流通経済大学 物流科学研究所教授)	松岡 正晃 (イオン琉球 (株) 管理本部 ストアオペレー ション部部長) 玉城 昭彦 (沖縄県生コン クリート協同組 合常務理事)	具志堅 全隆 (浦西産業(株) 代表取締役社 長) 新城 英一 (大成通運(株) 代表取締役社 長)	親川 進 (沖縄県商工会 連合会事務局 長) 仲田 秀光 (沖縄県商工会 議所連合会常 任幹事) 山城 勝 (一般社団法人 沖縄県経営者 協会常務理事) 上里 芳弘 (沖縄県中小企 業団体中央会 専務理事)	佐次田 朗 (沖縄県トラック 協会会長)	松田原 昌輝 (連合沖縄副事 務局長) 玉那覇 英昭 (運輸労連沖縄 県連書記長)	沖縄労働局長 沖縄総合事務 局運輸部長